

# 幼 兒 教 育

第 三 十 四 卷 二 月 號 第 二 號



東 京 女 子 高 等 師 範 學 校 內  
日 本 幼 稚 園 協 會

東京高等師範學校教授

文學博士 小野島右左雄先生著

菊判全一冊洋綴紙數四百五十頁插畫百餘  
定價金三圓五十錢・送料三十三錢

新刊

# 最近心理學概說

## 卷下

文檢必 讀の要 書の最近 心理學の 完成す

本書の最も特長とすべき點は全卷一貫せる思想を以て凡ゆる精神事實を巧に解明し全卷暗  
示に滿ち本書上下二卷を味讀すれば一般心理學・兒童心理學・青少年心理學・發明心理學・  
個性・生活・社會心理學・變態心理學・動物心理學・教育心理學等の凡ゆる心理學の一般  
的知識を獲得すべきは勿論、學者は本書に依つて斯學の一體系を知るに止まらず科學の方  
法論・新方法を教へられ、一般人は人間の暗喩的體制的論理と應用を  
示され斯くしてその心理學は科學  
の先陣に立ち此思想國難の打開  
に資す。振つて萬人の乞必讀。

最近心理學概說 上卷 定價三圓五十錢 送料三十三錢

新刊

# 性格心理學と兒童研究

洋一全判藥  
綴冊十五圓二價定  
錢二十二金料送

文學博士 小野島右左雄著

心理學が兒童研究に及ぼした各種の功績及び心理學が人間の個性調査・性格検査に齎らした各般の効果は實に偉大なるものでは多岐に亘り一時に到達した小野島先生の研究は、併し其内容に於ては兒童研究の諸問題に對し、教壇に於ては幾多の疑問を最近の業績を以て、猶ほ最近の心理學の動向を問ふ、一般心理學徒及び教育家篤學者の御必讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區 中野文庫書店 電話 三三三番 八三三番 四二二番 二五五番

# 幼 児 の 教 育

昭 和 九 年 二 月

い き く し さ

子ぎもの友さなるに。一番必要なものはいきくしさである。必要といふよりも、い  
きくしさなくして子ぎもの傍にあるは罪惡である。子ぎもの最も求めてるるものを與  
へず、子ぎもの生命そのものを鈍らせずにおかないからである。

あなたの目、あなたの聲、あなたの動作、それが常にいきくしてゐなければならな  
いのは素より、あなたの感じ方、考へ方、欲し方のすべてが常にいきくしてゐるもの  
でなければならぬ。みんな美しい感情、正して思想、強い性格でも、いきくしさを  
缺いでは、子ぎもの傍に何んの意義をも有しない。

鈍いものは死滅に近いものである。一刻々に子ぎもの心を蝕み害はずにゐない。い  
きくしさを抜けた鈍さ、幼稚園では、この位存在の餘地を許されないものはない。

# 新らしき經濟政策と幼稚園幼兒

米國コロンビヤ大學ティーチャズカレヂ教授

パティ、スミス、ヒル女史講演

(いづくも同じ不況時代、いづくも同じ教育の犠牲。その厄を蒙むる幼兒達のためにヒル女史の悲憤の講演。これは、b. b. c. 國家教育放送協會から放送せられたものゝ大要であります。雑誌 American Childhood 十月號所載。——編輯者記)

新らしき經濟政策が有効である爲めには、早晚その恩恵を産業、商業ばかりでなく、家族、家庭、諸學校、諸大學に於ける少年や青年にももたらすべきであります。この新らしき經濟政策の影響が、教育上の機會の豊富を増し始める時に、我が公立學校に代表されて居る總ての年齢の階段が充分に分け前を受けるのは當然の事であります。しかるに、前年に於て、財界の不況が教育の豫算を節減し始めた時、經濟の祭壇に最初に犠牲にされたのは、これ等の不公平な手段に對し、抗議をする事の出來ぬ年のゆかぬ子供達でありました。

文明國に起るゝしては、何ぞ不思議な事でありませう。これを、最も年若い、最も弱いものが、種族の危期に當り、見込みのない債務を見なされてゐる、野蠻な、非文明的な民族には驚くべき事ではないでせう。飢饉の期間に原始人が食人にも歸る傾向のある時、その種族が、先づ自分を防禦し得ぬ弱いものを犠牲にする事も豫期されます。併し、文明は助けなきものに對し、新らしい態度をつくるものと思はれて居ります。文明の世界に於ては、弱いものは義侠心を喚び起し、慈悲の感念を深め、最も自個を防禦し得ぬものごもを保護し且つ養ひ度い、希望を目覺めしめるものと思はれて居ります。

これから見て、我々は當然、次の様に結論を下してもよいでせう。即、第一に自分を最も保護し得ぬものを犠牲にすでせう。

る社會は、無意識の内に、昨今の經濟的危期にあたり、見る問題に對するのに、野蠻人の標準理想にたち歸りつゝある  
こいふ事を。教育の豫算を平均させやうとする愚な努力の内になされた、重大な失錯は、その責めを、我が幼稚園長等に  
負はすべきではありません。概して彼等は、幼稚園を救ひ、智能と人情の滿潮時を表はす教育的プログラムに對する、總  
ての他の最近の追加を維持する爲め、勇敢に戦ひました。

我が國の學務局は、多くの社會に於て、實業界、經濟界から、多く選ばれて居ります。

彼等は、しばし、弗ミ仙の言葉によりて考へるやう  
に訓練されてゐるこはいへ、如何なる價を拂つても、「豫  
算を平均させる」こいふ事が第一の義務の様であります。

製産、竝に商業の問題から最も縁遠い、教育のこの方  
面は、最も了解されず、認識されて居りませぬ。子供  
は、年少であればある程、(産業世界の見地から見れば、  
價値のないものであります。成長と發達を扶ける、總て  
のものに對する、各年齢の權利を意識するには、廣い  
視界を必要と致します。これは、年少の子供に於て、特  
に眞實であります。眞の民主政治に於ては、發育の總て

の年齢の權利は、男女、人種、信條、或は階級の別なく、情實も偏見もなく、尊敬され、保護さるべきであります。成長



する権利は、四歳から六歳の子供の爲めにも、六歳から十二歳、或は、十八歳から二十歳迄のものゝ爲めにも、當然の要求であります。

この幼年期から成年期までを通じて、絶えず成長に對する機會の要求の正しい所以は、各時代が、それ〴〵まゐるべき権利を有するばかりでなく、成年時代の人格は、或一時代が犠牲にされる時は、それだけ缺陷を生じ、効果を失ふからであります。換言すれば、或一時代に課せられた損害は、その時代に結果が表はれるばかりでなく、後年にも影響を及ぼし、失はれた機會は補ふ事不可能といはずも困難であります。

我々は、身體の榮養に關してこの事を學びつゝあります。何故に我々は、小兒生活の初代に於ける感情的、智的、また社會的饑餓の結果に關する同じ教訓を學ぶのに遅いのでせう。

若し醫者が、幼兒期に適當な醫學的注意の重要性に關し、今日の學務局の様に不合理に考へたなら、如何なる結果を齎らしい時代の人々の體質に期待する事が出来るでせう。年長の青年男女、竝に成人の爲めには、醫者の診察も、清潔な、保健的な、設備のそなはつた病院を維持しながら、嬰兒の病院を閉ぢ、幼兒や兒童の注意を拒む社會があつたなら、我等は何も考へるでありません。しかも同じ主義が無意識の内に認められ、非常時の第一の手段として、幼稚園を閉鎖する事に適應されてゐます。

若し精神病醫達が、學校に行く以前の時代に於ける、適當な感情的保護の重要性に力を入れて居る事が正しいとすれば、此の時代こそ最もなほざりにする事の出来ない時かも知れません。

學校が、學校前の時代の子供を、その保護を發達する注意の下に置く事の適當なのを認めたのは、比較的最近に過ぎないのに、學務局が、幼稚園の提供する保護を教育に對するこの権利を、小兒から奪ひつゝけるならば、重大な退歩となる

幼稚園は、益々幼児の幸福を兩親教育の方向に發展しつゝあります。フーヴァー氏行政の間に、政府の庇護の下に催はされた、最初の児童幸福の爲めの協議會を通じて、いづれの年齢もこれほど強調されたのはなく、學校前時代の幼児の身體的、精神的健康に盡くす公共機關は獎勵されたものはありませんでした。この使命は、學務局によつて多く無視されて居ました。

限られた家庭の遊び場を有し、工場や、紡績工場や、鑛山その他の商業上の事業に雇はれ、外に働らく母をもつ現代生活ほぎ、幼稚園を必要とする時はありません。これ等の條件は充分重大なものであります。併し、失業の波が全國を一掃した時、等閑の危険は百倍して來ました。

母が經濟事情で働いてゐるにせよ、職業を求めつゝあるにせよ、この新しい經濟政策は、指導者等をして、幼児保護の爲めの規則、即ち、其計畫の中に、大都市、小村、田舎の社會、總ての階級の、學校前時代の幼児の適當なる世話を含む規則の作製に取りかゝらしめる重い責任があります。

幼稚園を育兒學校は、社會的、教育的機關となり、變り行く新しい社會狀態に應ずるやうに努力して居ります。今日のこれらの課程或は教育の計畫は、健實な基礎の下に築かれ、兒童の適當な身體的、精神的、また社會的必要に關し、教育の歴史にかつて見られた事のない、最も近代的科學的知識を具體化させて居ります。かゝる有用な、發展しつゝある教育機關を、最も必要な時期に、児童も、彼等の兩親も、より少なくではなくして、更に多くを要求してゐる折から閉鎖することは、教育的、社會的罪惡であります。若し幼稚園児童に對するこの法令が繼續するなら、四歳から六歳のものを「忘却された児童」と呼んでもよいでせう。

よろしく育兒學校、幼稚園、小學校等の教師、家庭經濟、小兒安寧、榮養、小兒科、兩親教育の指導者等は、國家的會

合をなし、幼児保護に年々増額の爲め、五ヶ年計畫を作成し、この主義に捧げた是等の機關のいづれかに、幼児の加入百%に達するやう努力すべきであります。

両親も、納税家も、教會も、婦人俱樂部も、商業會議所も、あらゆる實業、また職業的俱樂部も、この不況の暗黒時代に於ける、小兒の生命の不必要な浪費に對し、相共に抗議を申すべきであります。いこ小さい兒童こいへごも「生命、自由及び幸福の追求」に對する權利を所有して居ります。

【倉橋惣三氏序】ぬりゑの教育價値に就ては更めて申すまでもありません。今日では殆んど全國の幼稚園で行はれてゐますし、幼稚園でなくても、子ども達のために町の店できへ賣られてゐるようになりました。教育價値と共に遊戯價値に富んでゐることが分ります。

たゞ斯く多く行はれて來ますと、いよゝゝよきぬりゑ帖が提供せられなければならぬになります。杜撰のものでは却て子どものためになりませんからです。第一には幼兒の年齢に相應する注意力と指の運動の調節度、第二には原圖そのものゝ線の美、第三には出來上りの繪柄の趣味、それにまた紙の質や色といふやうなことも、細かく考慮されなければなりません。

及川ふみ子さんは、私がぬりゑといふ名を幼稚園へ初めて入れた最初からの熱心な共同研究者です。圖畫と手技との専攻家である及川さんは、その兩方の技能を巧みに取り合はせ、創意ある工夫を以て私の理想を具體化されました。そして、第一回の出版以來三度までも改訂を重ねたのが此の新版です。私としても欣快にたえません。

私は全國幼稚園の大勢の子ども達の可愛らしい指が、此の柔い線に沿ふて動いてゆくのを見るようです。指だけのことでありません。一枚々々の練習の間に楽しく育てられてゆく小さい心の生長が目に見えるようです。

昭和九年二月

(フレール館發行)



# オーストリーの幼稚園

(キンダーガルテン、ペタゴギークに據る)

多田 鐵 雄 譯 註

(I)

十九世紀の後半に至つて、ドイツに於けると同様にオーストリーに於ても教育制度關心者研究者達が學齡以前の幼児の教育に對して眞面目に心するやうになり、同時にかゝる幼児を理解する種々の試みが實行され出した。凡ての者はかのオーベルリン託兒所の保姆ルイゼ、シエブレルに倣ひ、かくてオーストリーにも託兒所(Kinderbewahranstalt)幼児預り所(Krippe)が成立した。フレーベル式の遊戲、作業、従つてその幼稚園理念はオーストリーに於ては最初の内は取入れられなかつた。そして却つてリージングの地に在る精神虛弱兒童保護所に於てドクトル、ゲオルクに依つてその理念が實行に取入れられたのであつた。ゲオルクの身内に當るゲオルク、ヘンルは彼の許でこの幼稚園理念を學び知つて一八六三年にウィーンに最初の幼稚園を設立した。其後幼稚園なるものが逐次新設されるに至つて、従來の託兒所は次第に全日幼稚園(Volkskindergarten)へ、又後には所謂學校幼稚園(Schulkindergarten)への變更されるやうになつた。一八六八年がかゝる變更の最初に起つた年で、即ちフィツシャーの管理してゐた託兒所が幼稚園に改造され、これには保姆養成所も附設されたのであつた。

[註]全日幼稚園(Volkskindergarten)とは正規幼稚園(Normalkindergarten)に對立するもので、後者が現在我國の幼稚園と略々同じ保

育時間を持つに對して、前者は、朝七時から夕六時頃まで保育し、中には給食する處もあり、云はゞ託兒所的使命を有する教育機關である。

[註] 學校幼稚園 (Schulkindergarten) とは、學齡に達しながら實際、これに相應する智能、身體の發達にまで至つてゐない兒童を學校豫備教育と云つた意味で、暫定的に幼稚園に屬させて置く施設である。

一八七〇年には又クッフシュタインにドクトル、マットホイス、ホェルファルターに依つて幼稚園が設立され同時に保姆養成所も付設された。この幼稚園は當地の市廳の管掌となつて今日も尙存立してゐる。

以後七十年間に於ては協會立幼稚園 (Verinskindergarten) がウィーンに於て擴がつて行つた。又一八七五年にはウィーンにもノイパウに保姆養成所が開設された。

夫以來、幼稚園運動はオーストリーの各地に於て興隆を示した。

これに就いて統計的な數字は見出されないが、幼稚園の増加は著るしいものであつたことは明かである。以前は僧院 (Kloster) しか協會 (Verein) しか個人から維持されてゐた幼稚園に對して、官廳が關心を持ち初めた。そして、市町村、各地方、國家が幼稚園維持を引繼いで行つた。現在オーストリーは幼稚園の數から云つても、又その幼兒の數から云つても、又活動せる保姆の數から云つても世界の他の國に遜色はない。一九二四年にはオーストリーはウィーンも含めて、六〇九の幼稚園、八一五の級、九九三の保姆、男兒二〇三〇四、女兒二〇七四九を算してゐる。一九二八年には六九三の幼稚園、一〇三六の級、一〇〇六の保姆、二二〇七七の男兒、二二一八一の女兒を算してゐる。

[註] 之を我國に比較すれば、人口に於ては我國は約十倍であり、昭和五年度の我國の幼稚園總數は一五二二、幼兒數二二、一九七五である。

これに依つて見れば、割合にして我國より約四倍に近く幼稚園に入園してゐることになる。尤も、オーストリーが託兒所を殆ん

ど幼稚園に變更して行つたと云ふ點に於て、我國の昭和七年現在に至つては託兒所數四〇〇兒童數約五〇〇〇〇に達してゐる。これを考慮に入れればこの差はもつと少くなることではあらう。然し兎も角も戰敗國のオーストリーが幼兒教育に於て、こゝまで力を致してゐることは注目すべきではあるまいか。

(2)

ウィーンには既述せる如く一八六三年以來幼稚園が存立してゐるが、殆んど各協會及び個人から經營維持されてゐたものである。

保育上から云つても、給食をなす二三の施設の例外を除き、凡ては正規幼稚園であつた。

協會立幼稚園の維持は協會員の寄附のみによつては全部を支辨し得ざる故、これ等の幼稚園では毎月一乃至三グルデンの金額が兩親から徴收されたのであつた。

この幼稚園の經濟的確立の絶えざる困難さ、この新しい施設に對する兩親の偏頗心、教師や醫師の拒絶的態度が、ウィーンの幼稚園に發展を妨げたのであつた。

一八六九年の國家國民學校法令は幼稚園を國民學校(註、小學校)體系中に配列することによつて一つの變更をなした。

幼稚園の増加に對するも一つの誘因は一八七二年の幼稚園令であつた。それは幼稚園の効果を承認し、學校監督機關にそれが促進を義務付けた。この法令には女子師範學校に付屬幼稚園(Unterskindergarten)を設立することを要求した。

[註]この幼稚園令は、第一に幼稚園、第二に託兒所、第三に幼兒預り所を規定した相當詳細なものであつて、注目すべきは、託兒所の設立も、内務關係のみでなく、教育官廳の許可を要することを規定し、又若き子女を見習生の如くに幼稚園で指導して、將來母としての資格を充實せんことを企圖したる規定を含んでゐることである。

一八七九年にはディレクトールなるクーゲレル、ダインハルト、フィツシャアの諸氏により幼稚園協會(Verein für Kindergarten)が設立された。

この三人並びに、それを圍む少數の保母達の努力によつて幼稚園理念は大いに發展し、遂に市町村自身が幼稚園に手を付けるに至つた。

かくてウィーン市は一八八九年から一八九三年の間に十一個の幼稚園を市の郊外から受継ぎ、其後數年の中に協會立幼稚園の中の幾つか引受けられたので、一九一二年には二十三個、一九一八年には五十七個の幼稚園が市立になつた。

これ等の幼稚園は勿論その保育時間等に關しては別段の變更もなかつたが、たゞ月謝が引下げられた。

大戰後に至つて幼稚園組織の力強い完成が始まつた。即ち五十七個の幼稚園の大部分が朝七時から夕六時までの所謂全日幼稚園に變更された。これは中食給與の必要がこの保育時間延長になつたのである。

幼稚園は數ヶ月に渡つてアメリカ給食機關から中食を給せられ、和蘭救恤機關から朝食の補助を得た。一九二二年十月以降はウィーン市當局が中食、朝食の支給を自ら行つてゐる。

現在ではウィーン市には一〇四の幼稚園、三二八の級が存在してゐる。一つの級に略々三十名の幼児が屬する故に、ウィーンの學齡前兒童の約三分の一が既に幼稚園に收容されてゐるわけになつてゐる。

〔註〕ウィーンの學齡前兒童の約三分の一が幼稚園に收容されてゐると云ふ事實は、正確な數字が無い限り信用出来ない。我國で一番幼稚園のパーセンテージの高いのは兵庫縣であつて、それは人口二百四十五萬三千五百七十三で、推定學齡前一年未滿の數は六八七〇〇であり、幼兒數は一〇三二九であつて、その百分率は一五%である。然もこの幼兒數の中に保育滿期前一年未滿のもの、

二年未滿三年未滿のものを含めてのことである。然るにウィーンの現在人口は百八十四萬七千四百八十八で、略々兵庫縣の三分の二である。而して幼兒數は推定、三二八級を三十倍したる九八四〇であるとすれば、略々兵庫縣の兒童の實數に等しい。故に本

文で推定してゐる比例は過大評價としか考へられないのである。

各市町村立幼稚園は大多數が、終日保育をなし、従つて、教育と保護を兼ね行つてゐる處の全日幼稚園である。それ故、これ等の幼稚園は福祉省の一部門たる児童局(Jugendamt)並びに市町村學務局の兩方に從屬してゐる。

教育的批評者として、幼稚園視學が児童局に配置されてゐる。幼稚園は年中繼續してゐる。そしてその本質上、教育的保護的施設として各區児童局と密接な關聯を持つてゐる。

児童局は、補助機關なる保護委員(Trustoramt)に依つて、凡ゆる保護を要する児童を幼稚園に割當てる。保護委員は、その家庭を親しく調査して幼稚園入學の必要を確定する。保護をうける場合は次の通りである。非衛生不健康的住宅、兩親の病臥、児童保護者の失業、無監督、及び教育不足、道德的有害、家庭教育困難の児童等。

幼稚園入園は自由意思によるが、經濟的に困窮せる兩親に對しては、月謝の半減又は免除を承認することによつて入園を可能ならしめてゐる。

特別の場合には少年審判所は児童局の委任により、児童の強制的幼稚園入園を判定する。

審判所の決定を實行せざる場合にはその兩親に對して、禁錮刑が兒童取上げが加へられる。

凡ゆる兒童に對しては又、幼稚園醫によつて、診察を受け得るやうになつてゐる。大きい幼稚園では毎週一回、小さい幼稚園では二週目又は三週目に一回順次診察を幼稚園醫は行ふことになつてゐる。轉地の要ある兒童は夏季中、特に幼児のために設けられたホームに收容されることが出来る。

ウィーン市の幼稚園は二三のモンテソーリー式のを除けば、略々フレーベルの理念によつて營まれてゐる。然しモンテソーリー、システムや現代幼児心理學の研究結果等の新時代の影響は、従來の保育手法を強力に變化せしめて行つた。

かくて幼稚園に於て會つて使用された作業材料はたゞ一部分だけ又は時折に用ひられるだけになつた。

幼稚園保姆は作業集中主義の意味に於て活動し、大部分は一日中を幼稚園で暮す幼児を創造によつてその發育段階に於

て出来るだけ多くの體驗を與へるやうに努めてゐる。

市立幼稚園の外にウィーンには三つの組合幼稚園、ミ略々五十に近い私立幼稚園がある。

私立幼稚園は市學務局或ひは直接に文部省に從屬してゐる。ウィーンに於ける幼稚園の全貌は最近數年の發展にも拘らず未だ未完全である。

幼児の教育と保護を公的施設として促進せしめるやうな市町村當局の態度、一般に幼稚園を理解させること、教師が幼稚園を承認すること、以上がウィーンに於ける幼稚園運動の今後の發展をもたらす原動力である。

〔註〕オーストリーが託兒所の幼稚園化を計つたに對し、ドイツでは、在來の幼稚園、託兒所、遊戯學校等の名稱を統一して幼稚園と云ふ名稱に一括して、滿二歳から滿六歳までの幼児の教育と保護を加へる場所にすることを志してゐる。それは既に一九三〇年の訓令で明言してゐる。我國に於ても託兒所と幼稚園との明瞭なる區別、その統一の管掌機關の決定が急務だと思はれる。

# 肺炎の話

醫學博士 廣 瀨 興

肺炎は冬季に最多い小兒病であつて、日本の乳幼兒の死亡率の他國に比して高率の一つの原因をなしてゐる重大な疾病である。そうした乳幼兒の生命に重大な關係にある肺炎を醫學上から見るに、二つの種類に見る事が出来るのである。

一つは氣管枝肺炎又はカタル性肺炎であり、一つはクルーブ性肺炎と稱するものであるが、感冒や氣管枝カタル、咽喉カタル等から併發されるものゝ多くは、氣管枝肺炎である。

## 氣管枝肺炎(カタル性肺炎)

この疾病は一定した病型を示す事なく、徴候や傾向が種々多であつて健康の小兒が、突然發熱する事があつたり、或は急性鼻咽喉カタル、或は氣管枝カタル等に續發して漸

次本性になる場合があるのである。

主なる徴候は咳嗽と發熱と呼吸困難に加はるに、腦刺戟症狀、胃腸障礙、血液の循環障礙及び心臟の衰弱等である。

經過は短かいものは一週間、長いのは三週間或はそれ以上に及ぶ事もある。

さて其間食慾は漸次減退し、睡眠も不充分となり、安眠を得られなくなる。呼吸の困難は甚しくなり、乳兒の場合には乳を吸ふ事が出来なくなり、従つて衰弱を益し又乳兒は力強く長く高聲を發して泣く事が出来なくなる。咳嗽は苦悶性のものであり、疼痛があるが如き刺戟性の咳嗽をなし高熱を發する。

而してその高熱は非常に上り下り變化のひどいものである特徴がある。又重患のものになると、無欲狀態となつて

食慾が全くなくなり、乳兒ならば乳を飲まなく、顔面蒼白となり、チアノーゼ（口唇紫色）になつて来るを起し、手足が冷却して来るのである。この様になるを、漸次に心臓の衰弱の徴候を現し、時に肺水腫を起し倒れるに致るのである。

**咳嗽**

咳嗽は特別の定型はないが、苦悶を伴ふ刺激性のものである。又時には痙攣性の咳嗽をする事もある。斯うしたやうに咳嗽は本症に必ず發生するところの症状であるが、この咳嗽の輕重を、疾病の輕重は、常に平衡するものであるとは言へない。

初生兒の肺炎等には全く咳嗽のない場合があり、殊に幼兒にあつては、喀咳は嚥下されるために、疾病の診斷の參考とする事が出来ない場合が多い。

**呼吸**

呼吸は頻數になつて呼吸困難を見る。殊に乳兒にあつては、鼻翼呼吸をなし呼吸困難の状態を示すやうになるにつれて、心窩部、胸骨上窩、肋間の陥没を見る事がある。が、

かうなるを呼吸に一種の呻吟を伴ふやうになる。呼吸數は六〇乃至七〇を數へ時には、一〇〇にまで増加する事がある。

常態に於ては我々の呼吸數は一分間に次のやうな數になり、呼吸ミ脈搏ミの割合は呼吸一に對して、脈搏四ミなるものである。

乳	兒	三〇乃至六〇
幼	兒	二〇乃至三〇
八歲乃至一〇歲		二〇乃至一八
成人		一八乃至一六

**發熱**

熱型は極めて不規則に上下するのが普通で、最高は三九度から四〇度に達し、決して一定數に留る事なく最低は三七度五分から三八度五分の間の最低最高間を上下して常に不動なる點が後述するグループ性肺炎ミ全く異なる處である。

**心臓の機能に及ぶ影響**

本症に罹るを、心臓の機能が衰弱するために、發熱に比



して脈搏數を増し、口唇、鼻先が紫色になつて即ち、チアノーゼの状態を現すやうになる、そうするに、顔色は蒼白となり血の氣を失ひ、手足は冷却してくるのである。これは本症の重患の場合の特徴である。

### 合併症

本症にかゝるにその症状の経過中にしばしば中耳炎を併發し、膿胸をも併發する場合がある。

### クループ性肺炎

この種の肺炎は三、四歳から五、六歳の幼児に多く發する疾病であつて重なる徴候は次の様である。

### 發熱

始めは突然に高熱を發し、三九度から四〇度にも及び、嘔吐、悪寒を伴ふのであつて、幼児にあつては激しい痙攣によつて始まる場合もある。

發熱の當初はたゞ高熱であり、脈搏は多いが、呼吸は別に増加せず又呼吸困難もないので、一般の家庭では、通常の感冒位に考へてみりかへしのつかない状態になる事が往々ある。段々病氣が進行するに従つて、不機嫌となり安眠

する事が出来なくなり泣く様になる。

### 呼吸

發病後三、四日たつて呼吸運動の場合に胸部の運動不充分になつて、一層呼吸頻數となり又呼吸は大變淺くなつて來る。そうして、呼吸に際して一種の喘鳴を發するがこの種の肺炎の特殊の徴候である。

小兒はしばしば腹痛を訴へ、下痢等のある場合には腸の疾患かと思はれる事が往々ある。この疾病の症状がその最高點に達した時には舌苔が重くなつて顔面が紅潮を呈し、意識は溷濁するに至る。

### 熱型

本症の特異なる點は、その熱型であつて、三九度乃至四〇度に止つて低下せず約一週間に及んで、始めて突然急に熱は下行し、三七度五分位に至るのであるが、この熱の下行に對してこれを「分離する」と言ふのである。この際には特に多量の發汗を伴ふものである。この分離の症状がこの種の肺炎の特徴であつて、カタル性肺炎と全く異なることの點である。そして、この熱の分離があれば患者の外観

も急に一變し良好になり、苦悶の様子も失せ、食欲も増加するのである。脈搏も強く打つやうになり、元氣が出て笑顔を作るに至るのである。

### 豫防法

平素感冒にかゝらない様に、日光浴、合理的栄養(兒童栄養の話、肝油の話参照)一般の衛生的注意(感冒の話参照)をする事が何より必要である。即ち感冒や氣管枝カタルの流行時にはなるべく人混みに乳幼児を連出す事をしないやうにする事や、マスクを使用する等の注意が必要である。又重曹水で、硼酸水で、含嗽(感冒の話参照)をする事も亦心がけねばならない。

冬季の室内が餘りに乾燥する事は悪いから適當の濕度を保つやうにしなければならぬ。言つてその溫度が過度にならぬやう注意しなければならぬ。又特に親として心掛けねばならぬ事は、扁桃腺の肥大であつて、このために常に感冒に罹り易い小兒は適當の時期に、これを適出してふこきは間接に肺炎の豫防となるであらう。

### 手當

#### 病室内の溫度

病室内の溫度は攝氏一八度——二十度(華氏六四度——六八度)に保つのが最適した溫度である。

この溫度に室内を保つためには適當な暖房裝置が必要となるわけであるが、蒸氣或は湯湯による暖房裝置は最理想であるが一般家庭では望めない事であるから可能性のある「よりよい」暖房について述べやう。

通常家庭に於いては炭火を用ひて暖を取るが炭火は多量に一酸化炭素を發生し、非常に有毒であるから氣をつけなければならぬ。よく、炭火を赤熱したものは有毒ガスが出ないといふ誤信してゐる人があるが近代の研究による言ひかへつてこの赤熱した時期に多量の有毒ガスが出る言ひはされてゐる。故に炭火を暖房に使用する場合には如何なる場合にも室内の換氣に充分氣をつけなければならない。

この事は一つに炭火の場合ばかりではなく、石油ストーブ、ガストープ、其他完全燃焼言ひはれてゐる器具を使用の場合に就いて等しく云はれる事である。

特に暖房裝置としては煙突のないものは理想的であるこ

は云はれない。

殊に本症の場合の如きは空氣の汚染が病患を一層惡化せしめるから注意しなければならない。

ところで一般家庭で如何なる方法で暖を取つたらよいか云ふは、先づ前述の理想的裝置及び電氣ストーブであるが經濟的方面から一般に望む事は不可能であるから、著者は經濟的方面から見て、又其他の簡易な暖房裝置から見て、煉炭利用の溫湯暖房裝置及煙突つきの煉炭ストーブが一番よいか考へる。

#### 病室内の濕度

室内は乾燥に過ぎてはいけぬが、餘り濕潤であり過ぎる事は却つて病狀を増惡せしめるものである。火鉢に洗面器をかけ水蒸氣をさしく立て室内に充滿させた様な方法は、近年行はれなくなつて、却つて新鮮な空氣を室内に入れる様な、大氣療法を行ふ人さへあるのである。これは一般に室内の濕度が餘り高くなり過ぎるに、體内よりの放熱作用が妨げられて鬱熱の状態を來し體内の新陳代謝を著しく害するからである。

我々の日常の生理作用は食物により營養を攝り、熱をつくる産熱作用、過剰の熱を體外に出して常に體温を三七度前後に保たうとする放熱作用、この正しい調節の破れた時に、始めて病的の状態が現れるのである。その放熱作用と言ふのは呼吸作用、大小便の排泄作用、今一つ重要なのは皮膚よりの排泄作用即ち皮膚呼吸に依つて行はれるのである。處がこの重大な作用である皮膚呼吸は若し室内が餘りに高濕の場合には、一般の物理的法則によつてその作用を害され、充分に放熱作用を行ふ事が出来なくなるのである。故に、殊に肺炎の如き場合に於ては、肺の呼吸作用が衰弱し、或は高熱の爲めに一層の發汗作用の甚しくならんとする場合に室内を高濕に保つ事は、益々放熱作用を妨げ體内に鬱熱を來し症狀の惡化に助力する事になつて、大害あつて一利ない結果になるのである。故に前述の如く近年に於ては新鮮なる空氣を室内に導き入れる、大氣療法さへ行はれ、その皮膚呼吸作用による放熱作用を重大視する様になつたのである。然し、かうした大氣療法の如きはよく醫師の指導の下に行はるべきことであつて、素人が單獨に

行ふべきではない。

家庭に於て一般に知つて置かなければならない氣象的關係(溫度、濕度、氣流)について述べれば、先づ室内に於て無風の場合、その室内の濕度計の濕球計が華氏の五六度を示した場合が最適當な濕度にあるので、この點を快感點と云つて最も健康に適合した條件にあるのである。若し濕度が上昇して濕球計が華氏六五度に上昇したならば、風速は一分間に五〇〇呎(一五五米)にならなければ前述と同様の快感點を得られないのである。故に室内が非常に高温高濕なる時は通風を充分によくしなければならぬ。

(日本の梅雨期にはこの注意を充分にしなければならぬ。それは日本の乳幼児の死亡率が殊に下痢、腸炎のために高率を示す一つの原因は、この高温高濕のためであると言はれてゐるのである)。

## 吸 入

咳嗽に對しては、吸入を行ふ事が最も必要な事であつて病症によつて、種々であるが一日數回は吸入する必要がある吸入薬としては次の如きものがよい。

含嗽瓶(四〇〇瓦入)一本について、重曹四瓦、リスリン八瓦、水四〇〇瓦。

大人ならばリスリンの代りに食鹽(三瓦)を入れてもよろしい。

咳嗽がひどく、呼吸困難強度になつた場合には酸素吸入を行ふもよい。勿論これには特殊の設備がある事であるから、これは醫師の指示によらなければならぬ。

乳兒に通常の吸入をする場合硝子の口の先きを他物で延長して先きを細くして使用した方が使用し易すく目的を達するによい。一回の吸入は容器に一二杯するのがよい。

## 濕 布

外部よりの處置としては、胸部に濕布するのであるが、濕布は出来るだけ熱いお湯でしぼり上げ、油紙の上に擴げて胸部に當て、上から油紙で包み、布にてその上を着物を着せる場合のやうにして包む。又エキホスの如き藥劑濕布を行ふてもよい。時には醫師の指導の下に芥子粒の貼付、芥子湯の濕布を行ふて、効果のある場合がある。

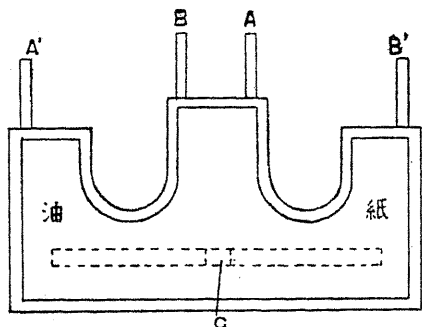
殊に主なる温濕布に就いて今少し説明を加へ様。

次圖の如き濕布帶を造るに温濕布をずるのに好都合である。

この濕布帶は先づ油紙或はゴム引き布を次圖の型に切り、その外側にネルの外皮をつけA A'、B B'、に紐をつけ外側C點に圖の如き紐をつける。

これを使用する場合にはこの内部の油紙或はゴム引き布を上部に置き、濕布帶を小型にしたネル布二枚乃至三枚重ねたものを

濕布帶の略圖



熱つい湯でしぼり、その上に擴けて、手早く患者の背部に廻し、濕布を胸の上によく重ね、それから濕布帶を重ね外側の紐を結び、頸部のA A'、B B'を結

びて濕布のズリ落ちるのを防ぐのである。

濕布は三時間をき位に取換へ布の乾燥しない様に注意する事が必要な事である。云つて患者が安眠してゐる場合には時間の延長してもそれは安眠を妨げぬ方がよい。

濕布を長く續けるに濕布カブレを生じる場合が多いが、

この場合には亞鉛華オリーブ油を添付するによい。又皮膚の弱い子供で濕布カブレの出来る場合には濕布に要する湯の中に硼酸を入れたものを使用するによい。その硼酸の分量は洗面器一杯の湯に對して茶匙二乃至三杯の分量を入れるによい。

濕布に對しては以上の如き注意を以つて行へば先づよい。たゞ濕布のシボリ方が弱くその湯が濕布帶からにぢみ出衣服をぬらし、蒲團をぬらす事が度々あるが、この事は注意しないに、かへつて病氣に悪い結果を導く事があるから注意しなければならない。

この注意事項は唯だ濕布の場合ばかりではなく、氷枕、氷囊の場合にはなほ一層の注意を要する。

氷囊・氷枕

高熱の場合に氷嚢、氷枕を使用するのは勿論であるが、特に、左乳房下部即ち心臓部に小兒拳大の氷嚢を當て心臓の衰弱を防ぐ事がある。肺炎の場合には心臓衰弱のために、手足が冷却して來るから、ユタンボを入れてこれを防ぐ事が必要である。

### 食 事

食事は流動食即ち胚芽米の重湯、牛乳、鶏卵、林檎其他の果汁、野菜スープ等を與へ、輕症の場合には、蛤、牡蠣の野菜を入れたスマシ汁（人蔘、大根、菠薐草等の新鮮なもの）を細く切つて入れる事等を與へてよい。又與へる菓子類としては、ウエフアー、カルケット、ニレット、キャラメル等はよいのである。

### 其他の手當

咳嗽其他のために小兒が泣いて睡眠が不足になる場合には、充分注意して、母が拘いて睡眠を攝らせるやうにする事も、その場合に於ては止む得ないが成るべく絶體安靜の方がよい。肺炎の病狀によつて醫師の施す手當としては、心臓を強めるための各種の強心薬の注射、輸血、生理的食

鹽水の注射、葡萄糖液の注射等の療法を行はなければならぬ場合が生ずるが、之れらは醫師に委せて適當の時期に行はねばならない。

### 恢復期の注意

肺炎に罹つた場合に特に注意しなければならぬ事は、病後の衰弱してゐる場合に結核等に患される事があるから、特に、榮養、空氣、日光等其他保健に必要な條項を守り、急速に衰弱を恢復する方法に務めなければ、一生の負ひ目を荷はなければならぬ事が多いから、充分注意を拂ふ事が肝要である。（終）

本誌一月號所載、及川氏の人形花子さんの型紙を當幼稚園兒の爲に印刷いたしました。ものがございませう。いくらでも印刷出來ます様に取り計らつてございませうから、御注文下さい。

一人前（前型、後型） 二一 錢

中込先 東京市小石川區東京女高師附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

一〇〇枚（五〇人前）以上に願ひます

# 三月の觀察

堀 七 藏

一  
三月になれば漸く春らしくなり、自然物が一般に生々の氣に満ちて来る。今まで堅く閉ぢてゐた植物の芽は、次第に大きくなり、青味を加へて来る。椿、梅、櫻、桃の如き、花の蕾と葉の蕾との判然してゐるものでは、著しく花の蕾が

成長して開花するものである。葉の芽も鱗片の間から青々した新葉が出かけて来る。桃は雛祭に必ずそなへられる花であるからよく觀察させるがよい。また梅の花でも二月から三月にかけて満開であり、比較的に花期が長いから觀察させるに便宜が多い。梅の花と桃の花とぎんなに異なるかを比べさせるのもよい。又つばきの花も三月には満開の地方がある。かゝる地方ではつばきの花の觀察も至極よい。

總じて三月には植物の觀察では新芽の成長變化に注目させるがよい。勿論チューリップ、ヒヤシンスの如き球根類の花を觀察させることもよい。またつくしや、草花の芽が

土中から伸出する有様をよく觀察させることも結構である。所謂二年生植物又は多年生植物の觀察を行はせると共に、一年生植物の種子をまいて、幼児にも行ひ得る栽培の準備を行はせることも適切である。

二  
冬の寒い間、冬眠状態にあつたいろいろの動物が、三月になるに冬眠からさめて活動を始めるものであるから、その觀察をも行はせねばならぬ。蛙の卵を採集飼育してその發生を觀察させるもよい。また鮒や鯉や金魚の生活状態を觀察させるもよい。また雀や烏、鶯等の鳥類につき觀察させる機會があれば勿論それもよい。尙ほがん、かも、かもめ、さぎ、しぎ等の鳥類を觀察させるもよいのである。

三  
凡て保育項目の觀察では、幼児の環境に於て幼児の生活内容を形づくるが如き事物現象をよく觀察させることに努

めねばならぬ。幼児の環境に於て豊富に存在し、幼児の視聽をひくものはこれを材料として観察させることが肝要である。幼児の時代にはいろいろの事物現象の個々のものを観察するものである。事物現象相互の關係なごを考察することは幼児時代には全く出来ない。幼児は所謂統覺作用が十分發達せず、個物期にあるのであるから、個々の事物現象をよく観察させて、その觀念内容を明白にさせることが

幼稚園時代に於ける觀察の主要な領域である。従つて幼稚園に於ける觀察では、個々事物現象そのものをよく觀察させることを本體とし、事物相互の關係なごについて深入した説明をなすことは禁物である。殊に抽象的な概念を授けるが如き理科的説明を觀察に加へてはならぬ。故に幼稚園に於ける觀察の材料は月々必ず變化せねばならぬことはない。同じ物を數回觀察させても差支ないばかりでなく、却つてその方が望ましいのである。二月に觀察した梅と三月に觀察する梅と、同じく梅であつても、その觀察材料となる梅に相違がある。假りに觀察材料たる梅が同一であつても、その梅は二月と三月とに大なる變化があるのであ

る。盆栽となつてゐる一鉢の梅でも、二月と三月とに成長變化があるのであるから、同一のものを殆ど毎日のやうに觀察させても一向に差支ないばかりでなく、眞の觀察よりいへばその方がよいのである。

生物の變化に注意して觀察させることが肝要である。昨日と今日とみんな變化してゐるか。一週間前と今とみんな變化してゐるか。幼児の注意を喚起して觀察させることが肝要である。唯毎日同じものを觀察させて居れば、注意をひかなくなるから、適當に兒童の注意を喚起し得るに足る變化がなくてはならぬ。その變化が著しいときは、全然幼児の觀察に任せて置いても變化に注意するものである。しかし變化が幼児の注意を自然に喚起するに足りぬ場合には、「このところがみんな變つたか」といふが如き疑問を提出して、幼児の注意を喚起させることも肝要である。

兎に角觀察の材料は専ら幼児の心理の變化に順應して選擇せられねばならぬ。幼児の興味を喚起するものを主として選擇すると共に、自然の變化に適應して觀察の材料が自然に變化すべきものである。年々歳々同様の材料を觀察さ



せても幼児の發達が異なるに應じてその觀察の結果に相異がある。故に小學校の教科課程に於て年々一定の教材を指定するが如きことは、幼稚園の觀察材料に於て全く必要でない。第一年の保育に於ける觀察材料はこれく、第二年の保育に於ける觀察材料はかくく、規定したり配當したりする必要はない。小學校に於ける理科教材排列の如く、幼稚園に於ける觀察材料の排列をなす事は甚だ面白い。

この精神に基いて段々各月の觀察について説明したのである、今まで四月の觀察、五月の觀察も、それく説明してこゝに三月の觀察を終るに當り、特に小學校に於ける教材の學年配當をなすが如き精神ではなく、唯月々に於て幼兒の環境に變化があるから、その變化に順應して觀察材料が異なるべきこゝを説明せるものである。即ち幼稚園に於ける觀察の材料は年々變化するこゝを必須の要件となすものではなく、年々同一物を反復して觀察させるこゝによつて、幼兒の發達に應じ幼兒の環境を構成し、幼兒に興味ある事物現象の觀念を明白にすこゝに努力せねばならぬ。

#### 四

最後に觀察に於て、大人の觀念に基いた説明、大人の概念から出發した理科教授をなすべきものでないこゝを繰返さねばならぬ。例へば馬は草を食ふ動物であるこゝか、牛は反芻するものであるこゝか、或は牛は偶蹄類で、馬は奇蹄類であるこゝか、更に牛も馬も有蹄類であるこゝか、哺乳類であるこゝか、いふが如き説明をなすのが幼稚園保育項目の觀察ではないこゝを十分理解せられんこゝを切望するのである。今日の動物學では、哺乳類といふ概念は、有蹄類といふ概念よりも高等な抽象的なものである。反芻類も草食動物も亦抽象せられた高等な概念である。馬の觀念も牛の觀念も亦比較して、その差異を取除き、共通せる點を抽象して出來た概念を表はす語である。かゝる概念は勿論具體的な觀念が明白でなくては眞に構成せられないのである。幼兒に牛も馬も實物を觀察させつゝ、その相異點を列擧させるこゝは出来る、しかし幼兒が牛も馬も類似點を列擧するこゝは不可能である。大人が牛も草を食ふであらう。馬も草を食ふだらう。牛も馬も草を食ふこゝが似てゐるではないか、説明すれば、成程理解し得る位なものであ

る。満四五歳の幼児が牛と馬とを比較して、何れも草食するものであると抽象することは出来ない。第一に馬は草を食ふ、牛も草を食ふといふ断定をなすことが出来ない位である。具體的に牛は草を食つてゐることを観察すれば、「この牛は草を食つてゐる」といふ事實は明白になるが、全稱的にこの牛でも草を食ふといふ断定をなすことが出来ないのである。この點を十分理解して保育項目に於ける觀察の實際に望まねばならぬ、幼稚園に於ける觀察では常に、この

牛、この馬、この龜、この金魚、この雀と、いふやうに具體的な事物現象についての觀念を明白になし確實な知識を收得させることを本體させねばならぬ。一般的に牛は、馬は、龜は、金魚は、抽象的な知識を收得させるのではない。勿論幼児のこころであるから、一々「この牛は尾がさう、この馬はたてがみがさう」と、一々特稱するものではない、けれども幼児の觀念は常に個々の事物の具體的表象であるこころ。そして幼児の下す断定は全稱的な形態を具備してゐても、實は特稱的なものなるこころを十分心掛けて觀察の實際を指導せねばならぬ。幼児は特稱的具體的な觀

念から屢々觀察を反復することによつて、次第に全稱的な抽象性に富んだ觀念が構成せられ觀念の内包も外延も發展するのである。それであるから觀察に於ては同一の事物でも屢々觀察せしめて、その事物の觀念を明白になさしめると共に、特殊より普遍化し、一般化せしめ具體より漸次抽象せしめるやうに指導せねばならぬ。

而して觀察は單に偶然的な觀察だけに止めず、豫期的な觀察より研究的觀察に發展せしめるやうに指導せねばならぬ。外界の刺激に應じて兒童が感覺器官を働かすやうな受動的な觀察をなさしめるのみに止めず、進んで自發的な發動的な觀察をなさしめねばならぬ。これがため觀察物に對して疑問を起さしめ、また觀察點を指示するやうにせねばならぬ。觀察點の指示には、「どんなになつてゐるか。いくつあるか」等の如き疑問の形を以て幼児の注意を觀察點に集注させる工夫が肝要である。「かくく」になつてゐるか「さいふやうに」、觀察の結果明白なるべきこころを説示するが如きこころは成るべくさげねばならぬ。

# 幼童教育と童謡 (1)

葛原 幽

童謡は、面白くさへあれば、幼児教育界に大切な役目を果す。その役目の半面に、幼童をスポイルすることが有つてはならない。

世に所謂「童謡」の中には少しの不注意から、さうした不安の伴つてゐるものがある。本號以下メンを新にして、それを省みる。

## 童謡と外國語

### 1

我が國の日常生活に於ては、幼児の世界に於ても、外國語が多くなり、「ピアノ」や、「リボン」や、「ナイフ」や、「ボール」は、よろこびとして、「ポケット」が「ポケット」になり、「ボウト」が「ボート」になり、「ハンカチーフ」が「ハンケチ」になるのを困ります。

その上、アクセントの事も、大に問題になりますので、多年、幼児の童謡唱歌に苦心してゐます私共して、出来るだけ、苦もなく、正しい發音ミ、アクセントによる外國語を、せりいれたくて、『幼年の科學』第十一號に於て、試みたものがあります。勿論、それが「幼児の科學」である事は忘れませんでした。前掲の「みんなみんなぼ」も同じく、動物ですから其の習性をも、これによつて、幼児に傳へようといふ事は忘れませんでした。

ウッドベカー

一、森の木山の木

木の洞うづら

洞うらの中に、巢うらをくつて

木を喰くふ蟲は むないかき

木つゝき ベク ベク

ウッドベカー

一、ベクベク ベベベク

ベベベク

大きな嘴 木をつゝき

るないか むるか 音で知る

木つゝき ベクベク

ウッドベカー

むかし、中學で習つた英語は、「小さい」は「リットル」であり、「より善い」さへ、「ベッター」を聞いて、そして、此の「木つゝき」は、「ウッドベッカー」でありました。それを、この童謡では正したくて、「ベッカー」を長びかしては、何うしても、おのづからなるリズムが破れてしまふ様に、つかひました。ベカーは、本来、二音節の英語ですけれど、日

本音にする時、「ウッド」を合せて五音に聞えるやうに、

木つゝき ベクく

ウッドベカー

こ、はめたのです。併し、この時、「ウッド」だけで、三音節によまれ、又曲つけられさうで、困つてゐます。「ウッド」が一音節であることは、英語を學ぶ初歩の時、大に疑はれました。「デスク」が一音節であることが、日本語になる時、三音節になるのと同じく――。

生まれ、この時、少くとも、

木つゝき ベクベク

のつゝきとしては、

ウッドベッカー

こは、何うしても、讀まれぬ筈ですから。

その上、「啄木鳥」の習性の大事なことは、山や、森の中で、木の洞に巣くふ蟲の居るか居ないかを、長い嘴で、木を叩いて知るさいふこき、それも、十分に、いつた積です。

唯、第一節の

ベクベク ベベベク

ベベベク

は、如何にも苦しみましたが、木をつゝく音が、日本語では、コツ〜になりさうな事で、洞の木を叩く音は、コツ〜よりも、ベク〜の方が、如何にも、適確である點を探りました。そして、幸にして、その擬聲は、犬の、「バウワウ」が「ワンワン」にも響く事以上に全然、日本の言葉にも有るベクベクなのですから、又、同じ第二節で

ゐるか ゐないか 音で知る。

このみでは、「何が居るか居ないか」なのか、問はれさうですが、第一節の續きですから、「木を喰ふ蟲」であることは、明瞭なものにして、いさゝかの不手際を、おゆるし下さい。今一つの不安は、*be:ka* の「ア」ですが、これは、日本文字では、かけないので、困り入つてゐます。せめて、「ウツドベカ」かこも考へ直してゐます。

2

一體、この音節の事は、言語學上、發音上、外國語を日

本語化する點から、論すべき方面の多い問題ですが、前出の、

ボケット が 日本語であり

バケツ も 日本語であり

ワイシャツ が 日本語であるのミ

同じく、これらを、本来の英語として取扱はうしなければ、よいのです。殊に、日本の假名で書き表はせない音の多い外來語ですから、

バキツト

バケツト

ホワイト シャート

こも書けない次第です。彼の、氷滑にしましても、「スケイテング」でなく、少くも、東京中央放送局の略號が  
ゼー、オー、エー、ケー、  
でなくて

ゼイ、オウ、エイ、ケイ

であるのミ同じく、氷滑りは

スケイテング

です。しかも、これが、六音節でなくて、二音節である事は、日本人の耳にまつては、不思議です。否、不思議ではない、疑問です。少くも、何んなに正しく發表されたにしましても、日本人の耳に、これが、二音節のものとは聞えません。デスクが三音節に聞えると同じく。そこで、曾つて、此の「スケイテング」の唱歌を作る時、實は、まづ、その輕快なる爽快味を、曲で作つて、それに、歌を嘗つたのですが、豫め、作曲者ミ協議しまして、二音節で、その當て嵌る一小節を工夫して貰つておきました。しかも、そのアクセントが、尻下りになる様に。(これは、幼児向でなく、小學校の四年程度のもので、『大正少年唱歌』第八集に收めておきました。)

これを、若し、日本人の耳に響き聞える様に、六音節にして、曲もつけ、歌はせておきますと、その幼児が成長後、外國語を覚え、發音する時に、ずる分、困るであらうと案じます。

これと同じ理由によりまして、

ピアノ

の童謠を作つた二十年昔、これは、「大正幼年唱歌」第一集に收めました。が、アクセントを全然、本來の英語のアクセントに合せる様にしました。(これも、曲が先に出来て、後から、それに歌をはめたのです)。しかも、此の「ピアノ」の語ほぎ、多く、幼稚園でも、小學校でも、誤まり發音されてゐるものはないほぎ、それほぎ多く、日本人の生活に、また、日常の言葉に出て來る樂器であります。即ち、

ピアノ

まいはれます。これは、

アジア洲　　が　　アジア洲

シベリア　　が　　シベリヤ

イタリヤ　　が　　イタリヤ

オーストリア　　が　　オーストリア

なごと同じく、「ア」が、「ヤ」に訛つてゐるのですが、それよりも問題にしたいのは「ピアノ」のアクセントのここです。「ア」にアクセントがある事に、多くは、「ピ」にアクセントをおいて、發音されてゐます。日本語とすれば、何でも宜いでせうが、英語の積で、「ピ」に、アクセントをおい

て發音されてゐては、困ります。『ワイシャツ』や、『バケツ』の如く、全然、本來の英語の發音から脱化してしまつてゐるのなら、問題は輕くてすみますが、『ピ』にアクセントのある『ピアノ』や『ピヤノ』は本來の英語に、稍々似てゐるだけ困ります。

かうした外來語は、幼児期から、正しく發音する様に誘導しないミ、小學校や、殊に、中等學校へ進んでから、訂正するのに、非常に、本人も苦心しますから、イの一番に、初めて習ひ覺える時、正確に、發音されなくては困ります。

眞に幼兒を愛するものは、なまじつかの知識で、英語の唱歌なご教へない方が、無難です。

時々、クリスマスの夕なごで、舌の廻りかねる幼兒の、英語の讚美歌をきいて、嬉しくもあり、案じもします。若し、それで、正しい發音の外人教師の指導なら宜いとして、時に、専門學校や、中には、中等程度の學生生徒が、日曜學校の先生であるのがある様です。(勿論、その學力程度が、その人の外語の發音の正否の尺度ではありませんが：)

この事は、教會關係でなく、氣の利いた幼稚園の先生の中にも、警戒を願ひたい點です。

一體、私共は、母國語を尊重する一面、正しい外國語を、正しく、日本語にしても採用するだけの雅量を持つてゐるたのです。デパートメントを『百貨店』とは、よく譯してありますが、ピアノを、洋琴、オルガンを風琴、ゼワイオリンを提琴と譯した先人に、その苦心には敬意を表しても、邦語譯の必要を求めないのみならず、やゝ、出來過ぎさへ感ずる次第です。アパートメントはアパートメントで宜しいではありませんか。

### 3

兵隊さんが進む

の中の「兵隊さん」を

～イ|タ|イ|サン

ミ六音節に讀み、六音節に歌ふのは非にして、

～イ|タイ|サン

ミ三音節に讀み、三音節に歌ふのが正しいといふ作曲者であり獨唱家である友人に共鳴してゐます。

東京

も、「トウキヨウ」に五音節に聞えやすいのですが、

實は、

トウキヨウ

であるべきだといひ

本郷住民

東京築港

關東平原

なごは、すべて、四音節であるべきです。それが、従來は、

ホシゴウジュウミン

トウキヨウチツコウ

クワントウヘイゲン

の類に讀まれてをりました。

此の類の發音を、合理的に取扱ふ様に、私共作歌者も、

また、作曲者も心し、殊に、幼児に、童謡や、唱歌を教へ

らるゝ幼稚園や小學校の低學年の先生方は、唯、音樂上の曲節を教へるのが、主としての仕事であるにしても、實

は、幼児の一生を支配する言語の第一歩を、正しく踏み出させる役目を脊負つてゐるのだこの自覺の下に、教材としての童謡唱歌の、選擇に際しては勿論、その教授に際しては、細心の御注意を祈る次第です。

先般も、文部省主催の英語教授の研究會に於て、福島中學の二年生と四年生との實地授業がありました、大に考へさせられましたのは、その地方的の訛言としての、ズー辯が、英語に於ては、殆んど聞えなくて、のち、同じ生徒の日本語には明瞭に、ズー辯が聞えた事です。これは、口や舌の形や位置に注意して、初歩から發音を正確に導かれた英語では、東北地方の少年も、正しく、「イ」に「エ」また「シ」に「ズ」の區別をし得るのです。

この一事は幼児を教へ導くものも、まづ、自ら、大に學んでおかなくてはならぬ事、大に省みさせられるではありませんか。

## 4

夜明けの波止場に

白い塔が出来た



メリケン袋の

高い塔が出来た

この「メリケン」の如きは、勿論、「アメリカン」の訛ですが、すつかり、日本語になつてしまつてゐるのですから、いゝましても、

朝日がさして きいらきら

五色の絲の ハンモック

眠つてゐるのか

王子様

八つ脚ひろげた

王子様

の中の「ハンモック」の如きは、全然日本語にもなつてゐますけれども、また、元來の英語でもありませんから、考へなくてはなりませんでした。これは、本來の英語なら殆んど「ハモック」でせうけれど――

繩の電車

地面に するく、白曇で

かいた二本の電車道

うね うね まがつた

レール道

廣い狭いの線路でも

繩の電車に のりこんで

みんなで、走れば 面白い。

前で 運轉手 ハンドル廻し

後で 車掌が チンくくく

お客が みんなで ゴーくくく

右は、小松耕輔氏の作曲ですが、「レール」が、二音節に扱はれてゐます。しかし、これも明かに、三音節の日本語になつてゐるのですが、これを、原音に近く、せめて二音節にした苦心、殊に

ハンドル

を、四音節にしないで、

二音節

の原音そのままに扱つてある用意を悦びます。

「休のベル」こいふ童謡の中の、「ベル」も元來は一音節で

あるべきに、二音節に扱つてあるのがあります。

『玩具のマーチ』の中の「マーチ」、

『銀坊主』や、『チヨコレイト』の中の、チヨコレイト、

みな、警戒を要します。

5

これに、稍々、似た邦語の中で、「雁々わたれ」を、

ガン ガン ワタレ

こよみ歌ふべきか、

ガン、ガン、ワ、タ、レ、

こすべきか。「ケンく子雉」を、

ケ、ン、ケ、ン、コキジ

こよみ歌ふべきか、

ケン、ケン、コ、キ、ジ、

こすべきか。を考へてみなくてはなりません。

これに似たものに、擬聲や、擬態の発音があります。

鳥は かア かア ないてるる

雀は ちゆん ちゆん ないてるる

にしましても、これを

鳥は かア かア ……

雀は ちゆん ちゆん ……

こ歌つたのでは少しも、鳥や雀の聲には聞えないのです。

すずめ

小松耕輔氏曲

一、あちらの屋根で

チユン チユン チユン チユン

なくよ

口をば あけて 元氣よく

チユン チユン

チユ~~~~~チユン

さへづるよ

一、こちらの屋根で

チユン チユン チユン チユン

なくよ

まけずに なくよ 元氣よく

チユン チユン

チユ~~~~~チユン

さへづるよ

この擬聲の何の一つでもが、みなよ、一音譜にしてあるのです。殊に、各節の終りに近い

チユン チユン

は、他のが、みな 八分一音に扱つてあるのに、これは、長く、四分一音にしております。うっかりするに

チユ、ン、チユ、ン、

の四音節にさへなされさうなところです。

こんび

梁田貞氏曲

一、さへ こんび 空高く

なけ なけ こんび 青空に

ピンヨロー ピンヨロー

ピンヨロー ピンヨロー

楽しげに 輪をかいて

一、さへ こんび 空高く

なく なく こんび 青空に

ピンヨロー ピンヨロー

ピンヨロー ピンヨロー

楽しげに 輪をかいて

(大正少年唱歌第一集)

この「ピンヨロー」も、決して、「ピ、ン、ヨ、ロ、オ」は曲つけられてゐないのです。明かに、

ピン、ヨ、ロー

の三音に扱はれてゐます。それと同じ、「さび」にしまし  
て

ト、ン、ビ

ではなくて、明かに

ト、ン、ビ

なので、二音に扱つてあります。梁田氏の名曲たる  
所以です。

「怒ばり犬」(梁田氏曲)は、イソップのあの犬のこゝです  
が、この歌詞の第二節が

あれも ぬすんだ肉だらう

うばひ取らうミ 大ごゑで

一ごゑ ワン ミ吠えてみた

こいふのがありますが、その「ワン」も決して、

ワ、ン、

ではなくて、唯、一音「ワン」なのです。

要するに、擬聲の中には、唱歌上、外國語と同じく、取  
扱はれなくてはならないのに、唯、曲に左右されたり、半  
可通の修辭のために、不自然に取扱はれたりしてゐるもの  
が少なくありません。そんな取扱方をされてゐる擬聲の效  
果は、全然、ゼロですから、外國語に注意すると同じ注意  
を、此の方面へも、向けたいご存じます。

(六八頁より)

考慮を要する最も至難なる最も大切な事ご思ひます。

私共今日斯うすれば良いご確心を以て精一杯やりました  
事も明日ごもなれば早や失敗を感じる事さへあります、こ  
のやうな凡人がこの大きな仕事を易々ご判る筈も無いごも  
思ひますが然しそう一考の元に片づけるわけにも参りませ  
ん。

明治の教育が昭和の今日表はれる如く、幾十年の後に始  
めて表はれ判るものか、それも分らないものでありませう。

現實の自己の無能無力を感じ、人格の向上を希ふ我々は  
その日その日先づ信ずる方向に力一杯働き一步一步進ん  
で行く處に私共の生活の眞の意義があるのではなからうか  
ご考へます。

# 東京市を中心とする幼稚園

一 記 者

## 幼稚園の普及状態とその經營

東京市教育概要(昭和七年度)に報告された市立幼稚園概況表は左の通りである。

区名	園數	組數	保姆數	幼兒數
麴町	四	一	一三	三五四
神田	七	一	一四	四五五
日本橋	八	二	二二	七七三
日比谷	九	二	二一	八六〇
芝罘	一	三	三	八六
麻布	一	四	五	八六
赤坂	二	五	五	一四六
四谷	一	四	四	一四六
牛込	一	二	二	八一
小石川	三	〇	〇	三四一
本郷	三	一	一	三三二
下谷	三	九	九	三三二

合 計	深 川	本 所	淺 草
四二	二	一	一
一二八	一	〇	一
一二八	一	〇	一
三、九七八	三	一	一

なほ同書には

「本市に於ける幼稚園は全部區費を以て各區の施設經營する處であつて、市は之が經費につき特別の負擔又は補助金を交付してゐない。都市に於ける幼稚園教育の必要なる事は勿論であるが本市の如きは、從來私立幼稚園が相當發達してゐた關係もあり、又各區財政上の關係もあり、市立幼稚園は他の教育機關に比し不振の状態にあつたが、近來幼児教育の必要漸次市民の認むる處となりこれが普及も近き將來にある事と思ふ」。

記されてゐる。この表に掲げられた、市立幼稚園なるものは全部舊市内十五區内のものであり、其十五區の内にも表にある様に、小石川、本所、淺草の三區には缺けてゐるのである。前記の説明にある通り私立幼稚園は舊市内のみにも數に於て市立の約二倍に達してゐる、新市内を入れると殆五倍に達してゐる。今其創立を調べるに市立四二園のうち明治創立が一四大正創立が二、昭和に入ってから七年度迄の分が二五であり、私立の方では明治創立三一、大正創立八六昭和七年度迄の創立が七八で公私共にいづれも大正、昭和の年代に園數が俄に激増して居る。經營は本市教育概要にもある通り全然區費に依り各區の狀態に従つて一様ではないが四十二園の内、一園の幼兒數最大が二百三十名、最小が五十名全部を通じて四十二園の一園平均幼兒數が九十五名、同平均保姆數三名で保育料最高が幼兒一名月額四圓最低が二圓五十錢平均三圓八十錢で一園の經常豫算額が、三千七百六十圓九十錢になつてゐる。四十二園の保育料歳入合計が十二萬九千三百八十一圓で經常費歳出總額が十五萬七千九百五十八圓になつてゐる、(昭和七年度私立

の方の歳入歳出市教育概要には出てゐないが保育月額最高が七圓三十錢(年額八十圓)最低が一圓になつてゐる。東京女高師附屬幼稚園と女子學習院附屬幼稚園と市立女子師範附屬幼稚園と官府立の三園、市立、四十二園、私立百九十五園合計大東京市内には二百四十の幼稚園がある。これを市立小學校總數五一四、官府立私立三十一合計五百四十五の小學校數に比べれば未だ半數にも達して居ない。七年の就學兒童數七十四萬一千八百八十九に對して同年の幼稚園兒總數一萬四千二百七名、かりに其三分の二を就學兒童と見ても僅に九千四百七十二名である。大東京に於ける幼稚園教育の普及はこれからである。

### 園舎及園組織

官府立は別として市立幼稚園の園舎は、現在は殆ど鐵筋コンクリート建築の小學校に併置されてゐる。獨立園舎を持つものは僅四園にすぎない。之に反して私立幼稚園の殆ど多數は木造で獨立園舎を有してゐる。官府立私立を除いての園長は之亦三園の女子專任園長以外他は皆小學校長兼任園長である、百十八名の保姆のうち約半數は相當の經驗

を有する者後半數は新進の氣鋭壯なる若人達で最近は市に於ても身體検査の外筆記、口答の各方面に互り嚴密なる詮衡を受けて後就職する事になつてゐる。幼兒は法令に定められた満三歳から入學の始期に達するまでの年齢の者で、多くは校醫又は園醫の健康診断の結果申込順に許可し、四月以外には學期始或は其他にても補缺入園を許す、組分けは大方年齢別であつて、一年保育と呼ばれる、一年間保育を受けて就學する者が過半数を占め、二年保育の者が第二位、少數の三年保育者で、この三年保育の者のみで一組を編成する園はごく僅少である、大方は二年保育、三年保育の二者を合併して一組としてゐる。

組の名稱は大方植物の名、例へば松竹梅、桃櫻梅、の類で又月雪花、四季、等であつて各園の思ひくである。

四大節の儀式は、獨立園舎を有するもの、外は大方併置せる小學兒童と共に行ひ、又中には保育完了式を幼兒のみにて行ふ處もある。

### 幼稚園に關する諸團體

これらの市立幼稚園の内容改善を目的とし、市立幼稚園

長及保姆を以て組織されてゐる、東京市保育協議會は、保育、觀察、談話、遊戯唱歌、手技の五部に分れ、部會は部長に依て隨時に、總會は毎年一回以上、市長の定められた日に開く事になつてゐる、これは大正十四年にはじめられたものである。なほ之より前に同様の市立幼稚園長と保姆とを會員とする東京市保育會といふのが大正四年頃(?)にはじめられ後一時中絶し大正十四年秋に復興し會長、幹事、委員、會費制度にて、調査、研究、講習、見學、管外視察(これは近年は廢された、等の事業をし、園數を増すと共に會員數も増して現在に及んで居るのである。なほ此の外に明治時代(?)よりある庚申保育會、日本橋區保育會、最近産たばかりの麴町保育會等皆幼稚園教育の内容充實並に會員の親睦を目的としてゐる。又各園の事情に依り後援會、母の會、保護者會、母姊會等の團體がその個々の園の向上の爲に盡されてゐる、然しこれは市立幼稚園全部ではない、かような援助團體を持たぬ園もある。以上は主として市立幼稚園關係の團體であるが、私立のうちには佛教保育協會、キリスト教幼稚園聯盟、公、私を含む東京保育協會(現在は

中絶の形又全國的であるが最も古き歴史を持つ日本幼稚園協會がある。

## 保育内容

然らばかような環境に組織にある、我が東京の幼稚園の内容はさうであらうか、人口凡五百萬、面積五百五十方軒、昭和七年十月からの東京は、一口に東京と云ても、商業地、工場地、官衛地、住宅地又農村、水郷、田園都市等其部分的の地方色郷土味は實に様々である。一定の教授細目と課程を持た小學教育に於てすら、郷土化せよ、生活に即せよと叫ばるゝ時に、それ以前の基礎教育であつて家庭教育をも補ふべき、幼稚園保育は、其の環境に即し郷土化する事に依て、同じ東京の幼稚園であつても内容に多大の差異ある事は當然免れない事である。所謂下町の殊に學齡前一年の幼児達には歴史的の英雄傳は、お話のうちになくてはならないものとして要求されるが山の手方面では、しひて歴史に話題をよせずとも、自然現象や實話、軽い挿話等でもよるこんで聞き入る。大河副ひの園では眞帆片帆、ボート、天馬船、川蒸汽等様々な船の觀察が出来るが麻布、赤坂方

面では坂は緩急様々觀察出来ても、川や船に接する事は少ない。かやうな例を一々あげれば際限のない事である。一般的に云へば、其地域々々による郷土的色彩強く、即ち各區により、更に各園によつて又多少の差異がある。然しフレール主義かモンテッソリー主義か自由主義かいかいふ或一つの主義を標榜するものも亦市立幼稚園にはない。

一海外視察員が或市立幼稚園を訪た時の問答に曰く「此幼稚園は何式であるか、フレールかモンテッソリーか其の兩者か如何に」、之、園の當事者曰く「どちらの式でもない、けれども必要に應じては、モンテッソリーの教具もフレール之恩物も、玩具としては用ふ、昔からの子供中心の雜祭り、五月の節句又賣買遊びの中に、描く事も歌ふ事も作る事も話す事もする、強ひて云へば、日本式である」、之、その視察員は「日本式、日本式」と云て肯いてゐたこの事である。

國民教育の基礎として、昭和年代の現在の、日本幼年國民として、國家非常時に育つ、次代の成員たる者の幼時として、人間として又幼年市民として最善の保育を施さんぞ、各園々長及保母諸君は、第一法令に基き同時に其園々々の



立場を鑑みつゝ全國の模範幼稚園である東京女高師附屬幼稚園の主張を實際を、市保育協議會又市保育會の調査研究を參考資料として、其園々々にての創造性の豊富な保育

内容が展開されてゐるわけである。それ故に範圍を狭くして、四十二の市立幼稚園のみにしても、一筆にこゝに、その保育内容なり實際なりを表す事は到底筆者の及ばざる處である、或會合の席上で、一園長(兼任校長)が云はるゝに「低學年の教育法、合科教授とか綜合教育といふ事の實際は、我々は現在の幼稚園を參考とし、幼稚園の保育を研究する必要がある。其處には小學校低學年にあてはめられるべき進んだ教育の實際が、すでに行はれつゝある」也。又或園長は「幼稚園の保姆も小學校の教育實際を知るべきである」、又小學校の實際聯絡上「保姆は將來全部訓導の資格ある者」等の會話があつた。是等は保育内容の一部分を語る資料にはなるまいか。

又近來、一般は幼児といふ上に、都市幼児として、都市といふ、自然から日々に遠ざかつて科學の力のみ生活して行く都市住民の幼児として、幼児の群として、特に施す

べき保育の方法に就て考へられ、又一部は實行にうつつてゐる。

(四二頁より)

宣傳してゐる手工業の獎勵にもなりません。所謂機械製の玩具及獨逸的見做されてゐるた最新式の機械類の模型玩具は一切ありません、ゾンネベルグの玩具銘を打つてゐる點にも依りませうが、これを見ましても、現政府の幼児教育に對する方針の一端が如實に感ぜられます。

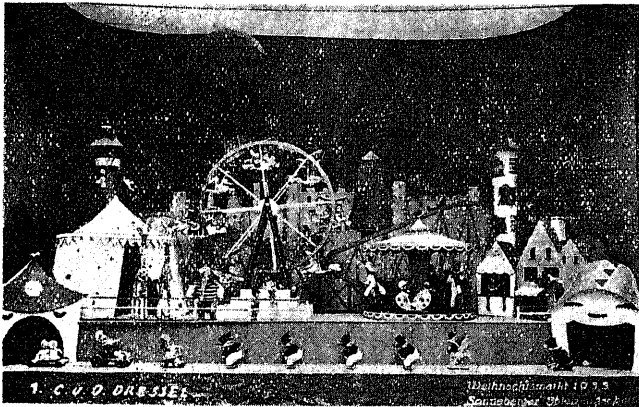
日本でも百貨店の催し以外に、こう云ふ公の玩具展覽會が欲しいと思ひます。

昭和九年一月四日 伯林にて

# 伯林の玩具展覧會

最近伯林でゾンネベルグ玩具展覧會が、クリスマスイテの市を兼ねて開かれました。政府の主催の下に、中々大掛りな催でした。ゾンネベルグに申しますのは、テューリンゲンの山の中の樅の森に圍まれた町の名です。此處は昔から玩具の製造等の手工業の發達してゐる處で有名な玩具博物館があります。此の町から出陳された人形が展覧會の主なものですが、飾り付けが非常に良く出来てゐて立派な見物ミモノでした。童話の豊富な國だけにグリムやアンデルセン等の童話の場面が丹念に作つてあります。

先づ、子供等、人物を主題にしたものゝ中で童話の場面を表はしたものには、森の中のヘンゼルミグレテル、雪姫、ガリバーが小人國で軍艦を曳いてゐるところ、傳説からは、ジークフリートミクリームヒルデ姫、グードルン姫、ハ



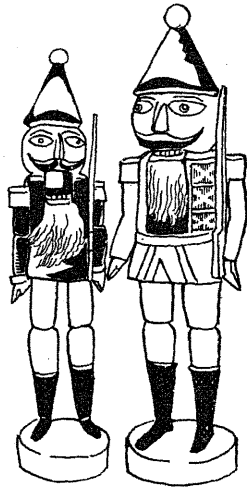
東  
山  
新  
吉

メルンの鼠狩りが笛を吹いて町中の子供達を誘ひ寄せたところ等が眼に付きます。風俗を取り扱つたものでは、テューリンゲンの縁日でサーカスが来たところ、テューリ

ンゲン農民の結婚行列、農夫の家庭、小さい妹の誕生を姉さん達が祝つてゐるまごころ、昔の風俗、時節柄勿論、サンタクロースも、キリストが厩の中で誕生した場面もありま

す。  
動物を主題にしたものでは、兎の家族が復活祭の卵を彩色してゐる場面、兎の一家庭、兎の結婚式行列、兎の復活祭行列、小山羊を食べた狼が寝たまごころを母山羊が腹の中

昔の胡桃割り人形です。口の中へ胡桃を入れて割る様に出まておます



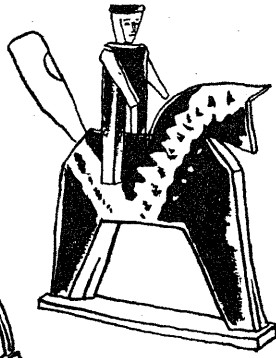
新まごころ

から小山羊達を助け出し代りに石を入れて縫つてしまふ場面、この小山羊の可愛さは格別です、それからアフリカの森の中で獣達が遊んでゐる場面、象が長い鼻を木に挟まれ

てゐたり、乳母車の中に河馬の赤ん坊が寝てゐたり中々面白いです、ノアの箱船もあります、又蟲の縁日もよく出来てゐました。犬の學校やお猿の町もあります。

昔の木製玩具

新まごころ



お玩具の國も出来てゐます。會場の真中がクリスマス市イデになつてゐて、人形が澤山出てゐます。船等も相當ありますが丹念に作られたものです。木製の簡単な船の製造も、

ガラス細工の實際を會場の中で見せてゐます。ガラス細工の玩具は時々日本でも見受けれます。中々面白いものですが、

全く觀賞用のみのもので大人の玩具でせう。昔の木製の玩具の陳列も興味深いものでした。會場中には廣い食堂があつて周圍を中世の古い町の建築で圍んであります。メリ、ゴー、ラウンドや人形落し等の娛樂設備、お菓子賣店は勿論、カスバー、テアターミ申します人形芝居が、つてゐて盛んに子供達を嬉ばして居ります。この人形芝居は現今では尠くなりましたが面白いものです。日本の幼稚園でも此の種のもが行はれてゐる處もある様ですね。カスバーに就いてはいづれも改めて御話し申ませう。

これで會場を一巡した譯ですが、勿論これは大體の報告でほんの一端をお傳へしたに過ぎませんが、特に感心しますのは隅から隅迄注意が行き届いてゐて場面の中の小人一つでも色彩、形、配置を良く注意して作つてあります。よく日本の百貨店のお伽の國等云ふ催物を見ますのに、費用を掛ける點では決して劣りはしません、少しも見榮えない場合が多い様です。よく、實物大の子供の人形が立つてゐて、服装も實際のものを着せてありますが、其の周圍の配置は森の景にしる、家の中にしる杜撰な場合が多

いですから、子供の人形だけ妙に生々しくして、少しも藝術的な雰圍氣を感じません。こちらのものは百貨店の催にしましても相當見徹えがあります。雪達磨やサンタクロースは素敵に大きなを作りますが童話的な場面等人形は全て實際の人間よりすつと小さく作り、顔も、背景やその道具立てに調和する様に作つてあつて、所謂生々しいものではありません。ですから、全體の空氣が調和してゐて、見る眼に心地良く感じます。又、風俗的な寫實的なものになりますと隅々迄寫實を徹底させて居ります。この展覽會の中で、テューリンゲンの緣日等は實に寫實的なものです。群集の配置の自然さには驚きました。遠方の人形程小さくして距離の感じを出してゐますが、一番遠く迄ちゃん小人形で作つてあります。決して、手前に着飾つた人形が立つてゐて、背景にボール紙に彩色しただけの人形が立つてゐるはしません。

政府が大いに力癩を入れてゐるのも良い事です。最も此の入場料は冬の救濟事業に廻る筈ですし、現政府が大聲で

東京女子高等師範學校  
教授・附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生新著

四六判三百餘頁  
挿繪澤山實際風景  
定價金二圓五十錢

# 幼稚園の保育法と眞諦

保育法の最良權威者

東京女高師附屬幼稚園主事にて又文部省社會教育官を兼ねられ而も人間味豊かな人格者として天下定評の士である。

現代保育法原論完成

倉橋先生は稀に見る純眞の教育者にて著書少く系統ある著書は本書のみ。本書は懇願數年初めて完成されたる新著にて現代に於ける最も完備系統ある保育原論である。

世界一の設備皆掲載

小石川に新建築の東京女高師附屬幼稚園の施設經營は世界一なりと稱さる。本書には其大部分を居ながらにして見得る様に部分的全體的並に保育實際の多數の寫眞を掲載す

## 目次

- 第一篇 幼稚園保育法の眞諦
  - 一 教育に於る目的と對象
  - 二 幼児生活と幼稚園生活
- 三 生活へ教育を
  - 四 幼児生活の自己充實
  - 五 幼児生活の充實指導
  - 六 幼児生活の誘導
  - 七 幼児生活の教導
  - 八 幼児生活の陶冶
  - 九 幼児の個性
- 十 幼稚園に於る保母の位置
  - 十一 無案保育
  - 十二 保育案の意義
  - 十三 誘導の保育案
  - 十四 保育案の採りどころ
  - 十五 保育案と保育項目
- 十六 保育案立案度及徹底度
  - 十七 保育案と自由遊び
  - 十八 保母の創造性
  - 十九 保母の生活性
  - 二十 保母の過種の實際
  - 二十一 幼稚園の朝・二自由遊び
- 二十 幼稚園の理論及び實際を詳説された本邦唯一の最良書である。
  - 二十一 内外の實際、古今の理論等悉く收められて遺憾とする所なし。
  - 二十二 保母檢定受験者の唯一最良の参考書。幼稚園書の王である。
  - 二十三 保母檢定試験規則による教育・児童心理・教授法・管理法の大意を全部網羅せる保母必須の最良書である。
  - 二十四 教育は本書を保育は幼稚園の理論及實際に依ると共に保母須要の二大科目の良参考書として最も適切なるものである。

増訂 第六版  
奈良女高師教授  
兼附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著(菊列)

定價三・〇〇  
送料〇・六

幼稚園の理論及實際

第六版  
奈良女高師教授  
兼附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著(四)

定價二・八〇  
送料〇・六

教育學

東大 京阪 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區保町一丁目一番七三〇  
大阪市南區安内寺堂一丁目二番八番六五五九

東京女高師教授 倉橋惣三先生 同校 保母新庄よここ先生 共著 菊判四百餘頁 定價三圓五錢

# 本日幼稚園史

特色 一、二十年苦心の結晶漸く完成す 大震災にて一時頓坐したるも再計畫の上蒐集考察研究完成成る。  
二、草稿千餘枚挿繪數百整理成る 倉橋先生畢生の努力と新庄先生懸命の助力にて此の名著成る。  
三、日本幼稚園史として比類なし 歴代皇后陛下行啓の榮を得し我が國幼稚園本山の記念作品。

## 目次

### 第一編 沿革及施設史

- 第一章 幼稚園開設前期
- 第二節 明治文化の建設
- 第二節 幼稚園開設の機運
- 一 學制頒布
- 二 女子師範學校の設立
- 三 幼兒教育の先覺者
- 第三章 幼稚園遊戯場
- 第二節 幼稚園開設
- 第一節 女子師範學校附屬幼稚園の創設

### 第二編 設立後の經過

- 第二節 開園及開業式—皇后皇太后后兩陛下行啓—
- 第三章 女子師範學校附屬幼稚園(一)
- 第一節 創立當時の規則及學年休業日
- 第二節 建物庭園及職員
- 第三節 保育科目及保育用具
- 第四節 幼稚園參觀記及追憶
- 第四章 女子師範附屬幼稚園(二)

### 第一節 行啓

- 第一節 行啓 恩物の多數その他
- 第二節 行幸
- 第五章 保母養成機關
- 第一節 保育見習
- 第二節 保母練習科の設置並に廢止
- 第二編 保育の實狀
- 第一章 一日の開誘(保育)
- 第二章 保育科目の恩物
- 第三章 保育科目の改正
- 第四章 說話
- 第五章 博物理解
- 第六章 唱歌遊戯

### 第三編 公令、功績者、保育文獻

- 第一章 功績者
- 一、中村正直氏
- 二、關信三氏
- 三、松野くらら氏
- 四、豐野美雄氏
- 五、小西信八氏
- 第二章 保育文獻
- 第一節 著書
- 第二節 手記
- 第四編 其の後の普及發達

### 五版

## 幼稚園の經營

(菊判)定價二・六 送料二・六

奈良女高師教授 森川正雄先生著 兼附屬幼稚園主事

□掛け方要目・保育要目・課進施設・時間配當該規定を幼兒所經營の重要問題の凡てを解決する。  
□更に經營施設・幼兒の眞生活・保育の眞髓・家庭と連絡・保育の雜問題等に付懇説し盡さる。

### 六版

## 幼稚園育兒法

(菊判)定價二・〇 送料〇・一四

奈良女高師教授 森川正雄先生著 兼附屬幼稚園主事

□育兒法は保嬰資格試驗の必須科目である。本書はその唯一の參考書にして保嬰養成所教科書。  
□附録(一)工場法(二)健康保險法(三)種痘法(四)産前産後の訓令(五)六七其の他新規定諸表を添ふ。

東大 京阪 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區神保町一丁目 振替東京一〇三七番 大阪市南區安寺町一丁目 振替大阪九五五番

# おはなしは心の交流である

京都 平安女學院保育科 大塚 喜一

同じ題材を通じて心の交流が一回毎に新しくしかも次第に深められて行く心の経験は、幼稚園のおはなしに於て、更に切言すれば、「幼児に語る」に際しての基調もいふべき最も力強き生氣と滋味との源泉である。然らば斯かる心の経験は一體され位斯道に精進すれば得られるであらうか？、この間に對する答は實際家諸賢の御経験により色々あるであらうが、小生はこゝに現に小生が親しく共に學びつつある一女學生の新しい心の経験を紹介する。この文は今迄「基本教育としてのおはなし」其他の拙稿を通じて本誌に發表して來た研究と實踐とを進むる上の好適の生きた資料たる事に心して讀んで頂きたいと思ふ。

☆

「子供は一度聞いたおはなしを何度も聴きたがるものだ」

「教育の時間にお話下さいましたので、私、家に歸つて試験するつもりで、或る夜小さい弟に孝女お露の話をしてみましたのよ。寢床の中に入つて聞いてました弟は、さも感心した様につこり笑つて、その夜は安らかに眠りました。そしてあくる夜、弟は寢床に入つてから「お姉ちゃんおはなしして頂戴」て申しますの。それで私が、「もう姉ちゃんは何もお話知らないわ、明日の夜までに何か面白い本を見いであげるから、今夜はおきなしくお休みなさいね」て云ふと、弟はお目々をバチクリさせて「お姉ちゃん、昨日のおはなしでよいのよ」て云ひますから、昨日と同じ孝女お露の話をしてみました。弟はさも珍らしさうに終まで聞いて、「姉ちゃん面白かつたよ、お露てえらい人ね、僕もお露よりもつこくお父さんやお母さんに孝行するよ」つ

て云つて、その夜もにつこりほゝゑんで眠りました。それからは、おはなしをしてやらないで眠れない弟になつてしまひましたの。弟はぎんなおそくでも私が寢床へ入るまで側できちん座つて待つてゐます。「お姉ちゃんはおそくなるから先にお休みなさい」。云つても、決して先に寢床に入りません。先生、私お話であまり知りませんので、毎

夜毎夜孝女お露の話ばかりしてをりますの、これでもう同じ話を二十回程しましたわ、でも今だに嫌な顔もしないで前と同じ様に、いゝえ前よりも以上に、樂しうに面白さうに聞いてゐますわ！、此頃ではもう弟の方が上手に云ふ位になりました、でもやはりお露の話をしてくれさ云ひます。

大塚先生、子供て一體ぎんな心で居るのでせうね、子供さはいへ同じ話を二十回も聞いてまだ飽きないなんて、一體子供の心でぎんなのでせう。

先生、子供て可愛いゝものですね。私、教育を習ふまでは、子供なんて本當にきらいでしたの、見るのも嫌でしたわ。だのにこの頃の私は全く反對です。子供が側に居な

ければ一日も暮せない私になつてしまひました。この頃弟妹を可愛がるので、お父様やお母様にほめられて頂いてゐます。……

## ☆

高女五年生の教育の時間として小生の受持つてゐるのは一組につき一週僅か一回(四十分)であるので、その限られた短時間内に必要な中心的感銘を喚起し教育精神を育成すべく努力してゐる。それで、おはなしに就ては「基本教育としてのおはなし」(本誌第三十二卷第五號)の中に述べた「心の交流」の情景をわかり易いやうに話してその實例として「鈴木すみ子先生の體驗談」(本誌第二十一卷第十一號)を讀むか又は語るかするだけなので、小生としては甚だ物足りなくせめてもう少し時間があればと思つてゐる。然るにこゝに紹介した様な新しい心の經驗を味ひつゝある事實が生徒諸姉の感想を通じて幾人も引續き披露されて來るミ、それが僅か四十分位の拙話によつてのみ惹起せられたのださばさうしても思はれない。實は幼兒處女との互に相求めむとする心がその本然の性情として内在してゐたの



が「おはなし」さいふ新しい心の経験をを通じて一體こなつて結ばれ、そこに今までは見出し得なかつた光が新しく産み出されたのだき惟ふより外はない。現に小生自身さへ、この文を讀んで「これでもう同じ話を二十回もしましたわ……前よりもより以上に楽しさうに面白さうに聞いてゐますわ！」さいふ所に來た時、涙ぐましい程の感激共鳴が新しく胸に迫るを感じた。又今この稿を書きつゝある時にも、やはり同じ心の動きが新しく感ぜられる。實にこは言葉の説明を以て盡し得ざる『おはなしの神祕』である。幼稚園の先生方よ、家庭のお母様方よ、童心を友として生きんとする同志の諸兄姉よ、先づこの『おはなしの神祕』を體驗せられよ！、その體驗の伴侶たるべく言葉をを用ふる事が許さるゝならば、この神祕は幼児の天眞の信頼性に潜むのである。故に、幼児に語る我々はこの天眞の信頼性に乗托して、表面幼児に語るが如くにして實は話者の言葉も態度も心も念に刻々に、圓いお目々をしておはなしに聴き入りつゝある幼児の童心に純化されて行くのである。この信頼性に乗托し得るまでの「純」なる心にさへなれば、たゞひ智識は少

く經驗に乏しくも、幼児に親しき心の交流が味はれ、童心の光により自己が純化し更生し行く法悦境に參し得る事は、前に述べた事實が明かに物語つてゐるのである。

斯かる「童心の光」による更生を、その全私の體驗を以て如實に述べられたる顯著なる實例として、始めて幼児達におはなしをした時の保育實習生の感想に就て次に記すことにする。一年生の二學期の中頃から一週に一時間位づゝ幼稚園を參觀してゐた保育科の生徒達は、三學期に一人づつ日を定めて十數人の幼児達の前に出ておはなしをする事になつた。この初經驗の心の記録として當時提出された感想は何れも次に述ぶる如き心を披瀝してゐた。何しろ「おはなし」にしてするのはこれが始めてであり、その上實習指導の先生や大勢のお友達が側から見られてゐるので、子供に話す嬉しさや責任感と周囲の大人に對する恥かしさが交錯して、前の晩は寝つきにくかつた位だつた。さていよいよ幼児達の前に出て「この頃みなさんだん／＼仲よしになりましたから、今日は一つおもしろいおはなしをしませうねえ」を挨拶の口を切つた。まあ、みんなよく聴いてゐるこ

ミ！今までこんな多くの圓いお目々、林檎の様な顔々に對しておはなしをした事が無かつた私は、子供達の可愛さに引かされて、始めの恥かしかつた氣持も次第に薄らぎ、落つて話を進めて行く事が出来た。……そして話し終つて子供達が拍手した時、ホツミして我に歸り自分の周圍に大人も居た事に始めて氣がついたのだつた。おはなしをしてゐる時はそれに氣づく餘地の無い程、そんなに熱心に子供達がよく、こそ私の初經驗の話に耳を傾け心をこめて聽いてくれたればこそ、下手ながらも始めてのおはなしを無事にすまます事が出来たのだと思ふミ、一層この子供達に對する親しみが増し、歸りがけに窓から「先生、又來ておはなししてやあ」ミ叫ぶ元氣な聲に、保姆ミしての私のこれらの人生がこの子供たちによりその門出かきだを祝福された様な心地がして、嬉しさミ感謝の心で一ぱいになる……

ミいふ様な心もちを、多少その人の個性により文のあやに違ひがあるが、大體右の様な心境の告白である事は云ひ合した様に、否最も自然にして必然なる心の眞理ミして皆が一致してゐる。この感想文に一々祝福の言葉を書き添へて

返した時、小生は眞に心から「お芽出度う」ミ云つた。この新しい心の經驗により、彼女達が未知の世界に一歩を踏入れ、前途に大きな希望の光を今見出し得た事が明かに讀まれたからである。幼兒に對する感謝の念！これこそは嘗て本誌第三十卷第二號に「おはなしについての反省」ミ題して記した如く、小生が十年にして漸く到達した心境である。然るに今、名實共に處女經驗を以て小生のこの心に一致する體験を獲得せられたる多くの親しき友の告白を聽いて實に感慨無量である。松美先生は「おはなしに於ては私達はいつも初心者である」ミ云はれたが、この初心者の心境こそは、常に新しき謙虛なる心を以て幼兒の前に出で幼兒ミ偕に語るべき地位に居る我等の態度たるべきである。

(昭和九年一月十日 新春心新なる日に)

(六三三頁より)

の盜棒をつかまへるお手傳や、お助けをしたり、いくさの時敵の居る處をかぎだしたりして大變賢い役目をする者だミ教へられました大そう感心しました。(をばり)

# 幼児の服装について (2)

東京女子高等師範學校教授

成 田 順

前一月號に幼児服の概要について述べ、子供服に對する一般の考へ方・色・柄・地質・型の選び方について希望を書いたが、本號には其の裁縫に關して記すことに致しました。

子供服の裁縫はなるべく手輕に簡單にしかも丈夫に考へていたゞきたいのです。時間をかけて手ぎれいにするのも結構なこゝではありますが忙しい時にはそれ以上に手早にしつかり丈夫に仕立てるこゝがより一層必要なこゝであり、實用的に結構なこゝと思ふのであります。それ故型を選ぶにもなるべくさつぱりした簡單なもの、之が裁縫にも出来るだけ手輕に、例へばポケットにしても複雑な蓋附のもの或は箱ポケットの如きものよりむしろ手輕に出来る縫ひ附けのポケットでよいと思ひます。又襷の細かいものは見た所から美しくしいには相違ありませんが、作るにも手入

をするにもなか／＼面倒でありますから晴着は格別晴着の必要は認めて居りませんが平常着ならばなるべく手輕に整理の出来るものでありたいを考へて居ります。

次に型紙の作り方について申上げます。型紙の作り方にはいろ／＼な方法がありまして手早く簡單に出来るのもありますが今迄の多くは大人の服の裁方を殆んぎ其まゝに、寸法のみ小さくすればよろしいやうに考へてゐるた向もないでもありません。それ故洋服はむづかしいもの家庭等で作るものでないと思つて居るのもあるやうですが、此點私は最も簡單にしかも合理的に考へて生徒に試みさせてをるのであります。さうか皆様も憶劫がらずお子様のために一つお作りになつてほしいと思ひます。

必要な寸法

胸圍 胸の廻りの寸法をはかります。

下着の時は裸體で上着の時は下着を着た上から。夏物は下着があまり影響しないが冬物は下着が厚いから可なり影響いたします。外套・ケープの類は上着を着た上からゆつくりをはかります。

身長 頭から踵迄の寸法。

服の丈は身長から割出すこも出來ますがお子様が側にお出でならば丁度よい寸法を實際にはかつてほしいのです。小さい子供の服の丈は短い方が輕快でよろしいのですが子供は成長が著しいから此點も考へねばなりません。普通は先づ膝迄を致してをります。

袖丈 肩から手頸迄の寸法。

これも身長から割出すこも出來ますけれど子ども子供によつて身長は等しくても、手の長さに可なり差のあるものですからはかつた方がよいと思ひます。

以上の外特に腹の大きい子供は腹廻りをはかり、ズボン半ズボンの爲には臀廻りをはかります。

其他身體各部の寸法をはかる人もありますが子供の服を

作るのに大して必要がないを考へてをります。

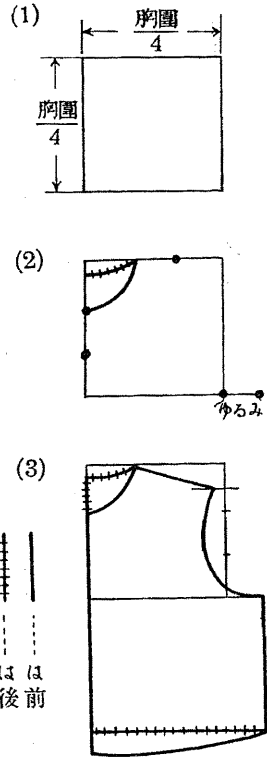
## 1、胸の原型

### 製圖の順序

- 1、胸圍の1-4を以て正方形をかきます。(圖(1))。
- 2、正方形を縦と横に三等分し、其の1-3をより前衿ぐりを定めます。後衿ぐりは一、二櫃(約三分)程くりまます。(圖(2))。
- 3、肩下りを圖(3)に示すやうに胸圍の1-4の1-6をします。
- 4、ゆるみはスタイルにより好みによつて隨意であります。普通は全體で十二櫃(凡三寸)乃至十六櫃(凡四寸)を入れます。原型は1-4の製圖ですから三櫃乃至四櫃を入れます。
- 5、次に肩幅を(圖)  $\frac{1}{4} \times 10 \times \frac{1}{2}$  として定めます。
- 6、袖ぐりを肩先より凡そ一櫃内側に中央の邊でくり圖(3)のやうに引きます。
- 7、次に背丈を胸圍の1-2に取り、前下りを二櫃程つけます。

此の原型の製圖は全部出來上り線であります。

1 圖



注意

衿ぐり 此の衿ぐりは頸廻りに接した線であり、ますから、衿ぐりの形により適當に斟酌せねばなりません。また五、六歳以下の子供は比較的頸が短いから此割合では小さすぎるかも知れませんので胸圍の  $\frac{1}{10}$  を衿ぐりき定めるのがよいかと思ひます。

2、袖の原型

身頃の袖ぐりをはかりそれを基として袖の製圖を致します。身頃の袖ぐりの線は出來上りですが、くれてをりますから之を正しくはかるには卷尺(又はテープ)を立て、致します。

製圖の順序

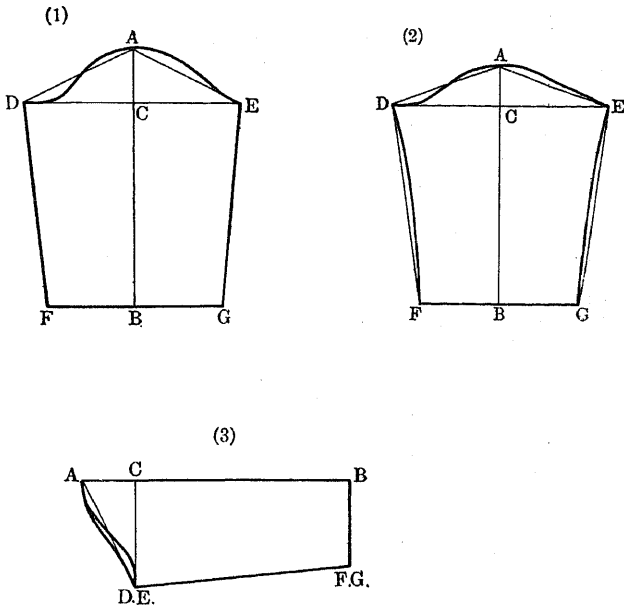
- 1、A B は袖丈(身長)の  $\frac{3}{10}$  乃至  $\frac{3}{10}$  (前)にも申したやうに實際にはかつたのがよろしい。

- 2、A C は山の高さ(袖ぐりの  $\frac{1}{6}$  乃至  $\frac{1}{4}$ )

- 3、A D 及び A E は袖ぐりの  $\frac{1}{2}$

(斜線の寸法)これは何れの場合も變りありません。袖ぐりの形は圖のやうに前の方は A D の中央で斜線を合ふやうにくり、後の方は A E の  $\frac{1}{4}$  位の所で斜線合ふやうにくります。

圖(1)は晴着用であつて山が高くて袖の幅が狭く圖(2)は山が低くて袖幅が廣いから運動着として適當でございます。即ち袖の山が高ければ高い程袖幅は狭くなりますが着た形はよく見えます。袖の山が低ければ低い程幅は廣くなりますから運動に便になります。それ故子供用としては外套晴着を除く外はなるべく山を低くして幅をゆとり取り取るのが使用の目的にも叶ふわけです。



4. FGは袖口(出来上り袖口にゆるみを加へたもの)。袖下の線はDF, EGになりますが袖幅が廣くてあまり

にだぶつく時には圖(2)のやうに内側へ少しくります。圖(3)は袖を横に製圖したのであります。

以上は極簡單に胴ミ袖ミの原型を記したのでありますが、實物を作るには之を充分活かして用ひてほしいのであります。私としてはこれを基本として下着も裁ち上着も考へエブロン外套に迄及ぼしたいと思つて居ります。あまり抽象的にかきましたので或は理解しにくい點もありませんが追々に如何に活用するかを申上げたいと思つて居ります。

新聞雜誌等にかいてあるのを見ますと其物即ち或る大きさの物は其通りに直ちに出来て都合がよさうにも思はれますが、年齢がちがひ大きさが異なる何れの部分を如何に変更すればよいかとわからないのであります。又形が異なる一々教はらなければ出来ないやうですが、これでは甚だ不便でありますからなるべく基本になる點を説明してあは皆様の頭で考へてほしいのであります。

# おひな様 人形 花子さん 三

及川 ふみ

## おひな様

今年はお出来るだけ簡単なおひな様を作つて見ました。

### 胴 第一圖

直徑一五センチの外輪と四センチの内輪の二重の圓を形どり、圓の兩端に、長さ四センチ幅二センチのはり代をつくりまゝ。

顔は直徑四センチの圓をつなげて二つ形り一つは前顔に、一つは後にいたします。此圓の兩端にも四センチ位の細長い柄をつけて胴の内部へはりつけまゝ。此顔を胴にはりつけまゝ時に、顔が胴の中に少しはいりこむ様にいたします。

このおひな様は一番簡單には模造紙で作ります。この時には紙がうすくてしつかりいたしませんから二枚はり合せていたします。

又費用の點で出来まゝすれば伊豫紙の千代紙を材料としていたします。大層奇麗で御座います。

それから畫用紙にこの圓を謄寫するまきに模様を考案して親王、内裏と別々の模様にして幼児にぬらせてつくるのも一つの方法であります。

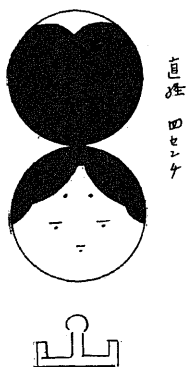
### 高臺

第二圖を畫用紙に謄寫して、それぐの色にぬらせて箱をこしらへまゝ。箱の上いきりこみをつくつておきまして、これへ胴のさしこみをはさんで箱の裏でのりをしてまゝ。

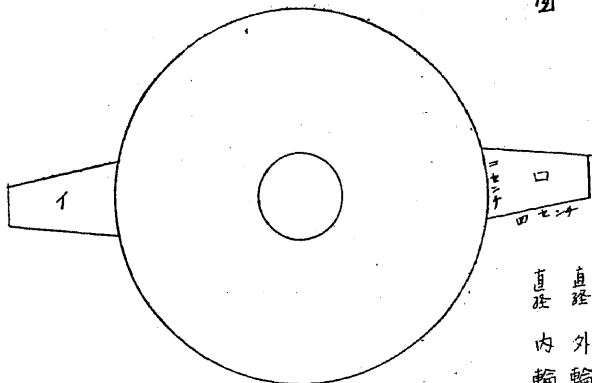
これも、石鹼の箱なごを利用して左右前方を色紙なごで奇麗にはりまゝ。面白くものが出来まゝが幼児の仕事としては少しめんごうすぎるかとも思はれます。

口繪のおひな様は伊豫紙の千代紙を裏うちいたしました。石鹼の空箱を臺として作つたもので御座います。

カ一図

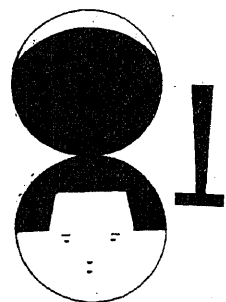
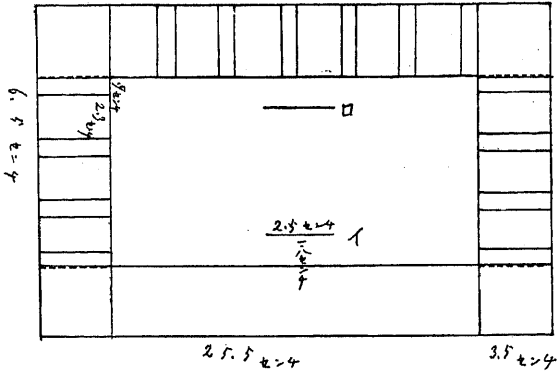


直径  
四センチ



直径 外輪 一五センチ  
直径 内輪 四センチ

カ二図



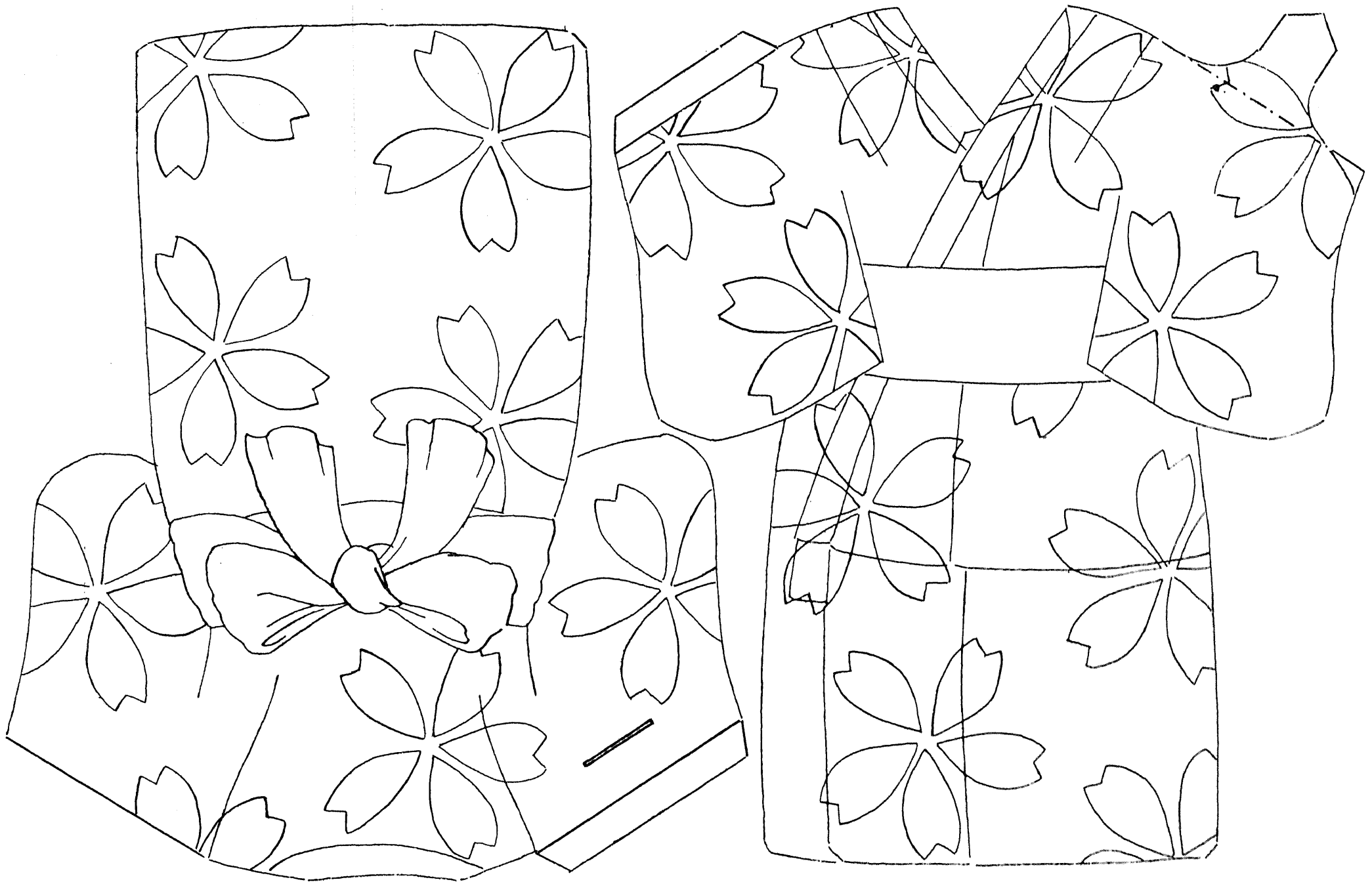
# 人形花子

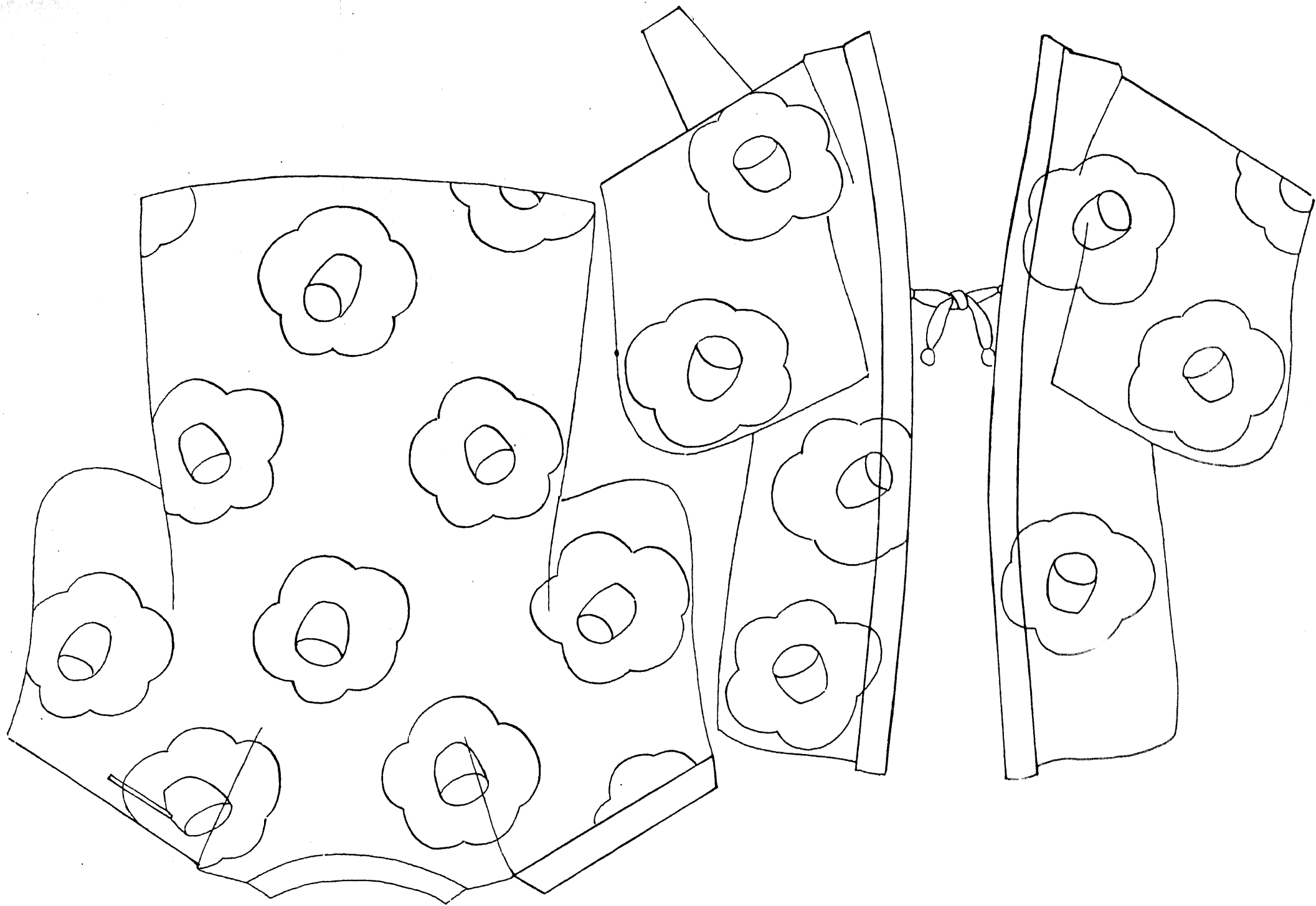
さん

前月號の型により  
まして、花子さんの  
下着を着たからだだ  
けが出来上りました。

花子さんの表は、  
髪の毛は墨で黒くぬ  
りまして、リボンは  
赤でも水色にでもぬ  
ります。顔や手足は  
輪廓だけうすく桃色  
にぬり、下着は白の  
まゝにのこしておき  
ます。靴下はうす茶  
色に、靴は赤くぬり  
ます。花子さんの裏







は表ミ同様になります。

さてこん度は着物で御座いますが、先づはじめは和服を着せて見ます。

### 着物

着物は別圖(實物本)を謄寫して、櫻の花を赤くぬつてもよろしいでせうし、又地色を赤くして、花瓣のつけねのころを少しみざり色にぬつても美しいやうです。

帯の色は着物の色ミ配合のよい様に適當に無地にぬります。

前身の片方ののり代を後身ミくつつけて、片方はさしこみにして着せたり、ぬがせたりいたします。

この着物の模様を謄寫版にすりますきに白の畫用紙よりも薄茶色か、薄鼠色のラシヤ紙にすりますき色をぬつてから大層美しくてはえまます。

### 羽織

椿の模様は花の心を黄色にして、花を赤くぬります。前身ミ後身のつけ方は着物ミ同様にいたします。

羽織の紐は黄色なき一例で御座いますが適當の無地の別

の紙に紐だけこしらへて(のり代五ミリ位兩方へ長くのばしておく)前身の内側へはりつけます。

この着物も羽織も謄寫してよくかかきましたなら型をきらない前に少しづつ丁寧にならせたいと思ひます。

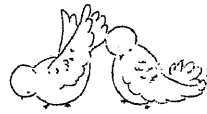
前身の一部だけで幼児があきましたならそのきはそのまゝでおしまひにして、又次の仕事ミしてのこしておいていく度かづけてやつミ一枚の着物にぬり上げるさいふ様にざりあつかふ方がいゝと思ひます。

前身も後身もぬり上りました上、ていねいに輪廓に沿ふてきりおさせます。

花子さんを入れておいたり、次々に出来る着物をしまつておきますために、ボールの空箱を家庭からもつてきてもらひますミ大層都合がよろしう御座います。

着物の型や、模様を一通り謄寫して幼児にさせますミ大きい組の幼児で御座いますミはじめの型に合せて形をミつたり、模様を自分でかきまして色々面白いものが出来ます。又時には千代紙で上等の着物や羽織をつくらせたり、又無地の着物や羽織をこしらへても面白い事ミ思ひます。

洋服なきは又來月號に申し上げる事にいたします。



## 童話 ベズワラガル

—レディ、グレゴリ原作—

津 田 芳 雄



五四

アイランドの或王様が、或時、侍従長をお連れになつて外を散歩してお出でになりました。そして一つの沼の所にお出になりました。するま沼には一羽の親鴨が十二羽の雛の一群を連れて泳いでゐました。そしてその親鴨が頻りに雛の一羽をその群から追ひ離さうとつゝゝいてゐました。

王様はこれを御覧になつて「さうしてあんなことをするのだらう」と仰せになりました。侍従長は「十二羽子供があります時にはその中の一羽だけを家から追ひ出して、獨り立ちさせなければならぬのでございます」と申しました。

「では余の子も十二人の中から誰か一人は城から出さなければならぬことになるが、誰を出したらよいものか、それはさうして決めるのぢやないか？」と王様は仰せになりました。「それはさうなされたらよいのでございます。明日王子

様が學校からお歸りになる所を王様が御覧になつて、一番後にお歸りになつたお方をお城から出すことになされたらよいのでございます」と侍従長が申しました。そこで王様は翌日侍従長とお二人で十二人の王子様が學校からお歸りになる所を番なさることにになりました。するま一番末の王子様が一番後にお歸りになりました。父君の王様は「あゝ、もう一度やつてみさせて呉れ」と仰せになりました。それで又翌日お二人で番なさることにになりました。するま矢張り末の王子様が一番遅くお歸りになりました。三日目も同じことでした。「あゝ、末の子を出すのは他の二人の子を出すより余はつらい」と王様は仰せになりました。侍従長は「それは御心配に及びません。その王子様はお仕合せになられるのでございますから」と申しました。「では余も

満足ぢや」ミ王様は申されました。

それから王様はその末の王子様をお召しになりました。十年も二十年もお困りにならん程な澤山なお金の入つた財布をお下しになつて、これからは獨り立ちで世間へ出てやつて行くのだぞ、ミ仰せになりました。

それから、その末の王子様は父君のお城にお別れをして、旅にお立ちになりました。そして晩まで或道をお歩きになりました。するさ前の方に一軒の小さい家があつて、その中から燈火が見えておりました。王子様は戸を開いて中に入りになるミ、中にはミても年取つたお爺さんが獨りゐるだけでした。そしてそのお爺さんが「これは王子様、ようこそお出でになりました」ミ云つて喜んで迎へて呉れました。王子様は「やあ、有難う、だが僕が王子だつてここはミどうして分つたんですか」ミお訊ねになりました。するさお爺さんは戸の上に掛つてゐる刀を指して、かう申すのでした「あれを御覽下さい。その戸を潜つて来る人が若し王子様でない時には、あの刀がその人に落ちかゝつて来て、その人の首を刎ねるのでございます。この家は王子様だけをお迎へ

する所でございます。それにしても王子様は誠に好い時にお出でになりました。こんな好い時は又ミございませぬ」  
「それはまたミういふわけですか」ミ若い王子様は申されました。お爺さんは「それはミ申しますのは、この向ふに一つの池がございます。その池に一年の中に一朝だけベズワラガル姫ミ申すお姫様がお見えになるのでございます。姫は世界中で一番お綺麗な方です。そのお方がその朝、十二人の侍女達をお連れになつて、一緒にその池で泳がれるのでございます。そして明日が丁度その日に當つて居るのでございます」。お爺さんは王子様の方へ顔を寄せて尙續けて申しました「それで王子様は明日池にお出でになつて、姫や侍女達が水にお這入りになるまで隠れてお出でなさい。ベズワラガル姫は一番後に着物をお脱ぎになりますから、それまでお待ちになつて、それから王子様はそーつミ姫のお着物を取つてお隠しになるのです。するさお姫様は何所へも行かれなくなつて、王子様のお願ひになるミここは何でもお聞き入れになるやうになります。さうしたらお姫様をおもらひ受けなさいまし」ミ申すのでした。

若い王子様はそれで、翌朝早く池の所にお出でになりなりました。するまべズワラガル姫が十二人の侍女達をお連れになつて水にお這入りになりました。そこで王子様は姫のお着物を取つてお隠しになりました。やがて侍女達は泳ぎ疲れてから、着物を着て、それから鳥に變つて飛んで行きました。べズワラガル姫だけにはそれがお出来になりません。

其處へ王子様が出て来て姫のお着物をお返しになりました。そして「僕には何を下さいますか」を仰有いました。姫は「お望みの物は何でも差上げます」を仰有いました。王子様は「他に何もお願ひはありませんが貴女を下さい。貴女に僕を結婚して、僕の妻になつて戴きたいのです」姫は「貴君は飛べないのに、さうして妾を連れてお出でになりますか」を申しました。けれどもさうは云ひ乍ら、姫の方で、お待ちになつてゐた鎖の環を王子様の首に掛けて、王子様の手を取つて、或庭へ連れて飛んでお出でになりました。そして其處の庭師の家に王子様を連れて行かれました。「そして一事、妾は貴君に申し上げて置かなければならないことがあります。それは、貴君が妾のこゝを不思議に思つた

り、妾のこゝを一言でも何さか仰有つたりしてはならない、さいふこゝでございます」姫が申しました。「それは致しませんが」王子様は仰有いました。そして庭師の家に居られる王子様の所へ姫が毎日お食事をお持ちになつて、暫くの間は、かうして其處で御一緒にお暮しになりました。

(讀者諸君!!この話を物語つてゐる人は百歳の老人なんです。

この所で少し疲れてきたものだから、傍の老夫人が戸口の階段に腰を下してゐる。これもお年寄りの老婆にポータを一杯頼みます。老人はそれを一啜りして、それから又話を續けます)。

所がたうさう或日のこゝ、庭で姫が王子様の側をお通りになつた時に、王子様はその美しい姿を御覧になつて、傍の庭師の方に向つて、かう仰有いました。「世界中に僕の妻程綺麗な婦人はこれまでにだつて一人もあるまい」するま庭師が「それは左様でございます。がその奥様はもうあなたの側に居られなくなります」を申しました。

翌朝べズワラガル姫は王子様の朝のお食事をお持ちになつて、かう申されました。「まあ、貴君はさうして妾のこゝ

をあんなこゝ仰有つたのですか。妾はもう貴君にお別れしてライナ・スルアへ参らなければなりません。もうお會ひ出来ません」王子様は「貴女のあんな美しいお姿を見て、さうして綺麗だと思はないでゐられませう。僕は何時までも貴君の後について行きます」こ申されました。

それで姫は其處にゐなくなりました。が、その何處かへ行かれる前に、王子様の五本の指に五滴の蜜を残して行かれました。王子様も姫の後を追ふてその庭をお立ちになりました。

そして王子様はその日、一日中お歩きになつて、日の暮に一人の老人だけしかゐない一軒の家にお着きになりました。するこその老人が「今日立つて行つた一連の人達を神様がお守り下さいますようにこいふお祈りを致しました。王子様は「それはさういふ人達です」こお訊ねになりました。「ベズワラガル姫とその十二人の侍女達です」こ老人は答へました。「それは僕が尋ねてゐる人です」こ王子様は申されました。「あなたは姫にお會ひになるこゝは出来ません。だ

時に、球を一つ差し上げます。あなたはその球を前の方に投げ乍ら歩いてお出でなさい。あなたがその球について行くこゝが出来たら、私の弟の所にお着きになります。そしてたら弟がお力になつて差し上げませう」こ老人が云つて呉れました。

それで王子様は朝飯を戴いてから球を老人からもらつて、それを前の方に投げてはその後を追つて一日中お歩き続けになりました。するこ前の老人の弟さんの家に着きましたので、王子様はその家にお這入りになりました。するこ老人が「今日立つて行つた一連の人達を神様がお守り下さいますよう——それはベズワラガル姫とその十二人の侍女達です」こ申しました。「それは僕が尋ねて居る人です」こ王子様は申されました。「あなたは姫にはお會ひになれません。ですが私が會はして差し上げませう。外の厩に馬が十二頭居ります。其處へお這入りになつて、厩の戸の裏側に掛つてゐる馬鞆ウマツツを取下して、それを振つて下さい。そこへ出て来て、自分でそれに首をはめる馬にお乗りになれば、その馬が姫の行かれた所へあなたをお連れします」こ老人

が云つて呉れました。それで王子様は翌朝、朝飯を戴いてから厩に行つて、云はれた通りに致しましたら、小さいアラビヤ馬が走つて来て首を馬具にはめました。王子様は「何

てまづい馬が出て来たんだらう。あんなに良い馬が他に澤山ゐるのに」云仰有いました。老人は「これが充分お役に立ちます。さあお乗りなさい。あなたは乗馬はお上手ですか」。云申しました。王子様は「それは得意です」云つてその馬にお乗りになりました。「さあ、あれを跳び越しなさい」

老人は云つて、その屋敷の横の高い塀のある方へ馬を向けました。「御申戯仰有つてゐます。あの塀を跳び越すなんて、誰に出来るのですか」王子様は仰有いました。けれどもその小さいアラビヤ馬は地面から離れました。そして空中に弓を描いて、それから塀の向ふ側に降りました。王子様はその途端に馬からお落ちになりましたが、起き上つて又その小馬にお跨りになりました。「さあ僕、出掛けま

す」王子様は申されました。老人は「ベズラガル姫の居られる所へはミても行かれますまい。其處へ行く途中には空へ向つて一哩程も火を噴いてゐる所があつて、其處を越

える時には、空を高く飛ぶ鳥さへ灰になつて落ちるので「云申しました。

それでも王子様はその子馬に乗つてお出掛けになりました。そして火を噴いて居る所が見える所までお出でになりました。するにその子馬が「私の耳に手を入れて、中の蠟を取り出して下さい。それに王子様の召し上る物に、私の戴く白水が入つて居ります」云申しました。それで王子様はその蠟を取り出して、白水を馬におやりになつて、それから残りを馬の蹄にお塗りになりました。するにさうでせう、そのお陰で馬が上空に高く一跳びして、火の噴いてゐる場所を越えて、その五哩も向ふ側に降りたのでした。そして馬の腹の毛が焼け落ちただけで怪我一つありませんでした。

そして、その降りた所に一軒の小さい家があつて、その中にお婆さんが一人居りました。王子様は馬はそのお婆さんになつて、七人の男が頭を半分切り落されたり、手や腕を無くしたりして家に這入つて來ました。「あの人達は誰です



か。そしてさうしたのですか。王子様がお訊ねになりました。「あれは皆妾の息子でございます。それが、七年の間毎晩、小船に乗つて来て、あの子達を戦争をして居る人達があるものですから、それであんなに怪我をして居るのでございます。そして相手の中であの子達に殺された人達も皆翌朝になるまで生返るのでございます。またあの子達も朝になるまでつかり元通りに癒つてしまひます。」とお婆さんが話しました。王子様は「では僕が行つてその相手の者を殺してやる。」と仰有つて、小船の所にお出でになつて相手の者を皆追拂つてお終ひになりました。

それから王子様はベズワラガル姫の居られる家から小半里を隔つてゐない家の所までお出でになりました。そして宿を乞はれます。その家の主人がかう申すのでした。「さうしてあなたはこの家にお這入りになるのですか。さうして皆の行つてゐる所へ——あの結婚式のある向ふの大きな家にお出でにならんですか。」それで王子様は料理人の着物をもらつて、それを着てベズワラガル姫のお家へお出でになりました。そこには何百人もいふ大勢の人達がベズワラ

ガル姫の結婚式に出るために這入つて居りました。王子様はその玄關の所へ行つて、「料理人はお要りではありませんか。」と仰有いました。するに家の人達は「要ります。要ります。要ります。要ります。」と仰有いました。十人來て呉れたつて喜んで傭ひます。申しました。

そして王子様はお臺所へ廻されました。それから王子様は料理人頭から麥粉やなんかケーキを拵へる材料をおもらひになつて、焼くだけに拵へ上げてから、その上に五本の指の型をつけて、それからそれを窯にお入れになりました。そして焼けた時にそのケーキに覆を被せて給仕人にかう云つてお渡しになりました。「このケーキはベズワラガル様に上げて下さい。他の方には上げはいけませんよ。」

それでそのケーキは食卓のベズワラガル姫の前に置かれました。姫はそれを少し食べようと思つて、手にお取りになつて、お割りになりました。そして少し召し上つてから「このケーキを拵へた人は何處にゐますか。何處にゐたつて構はないから妾の所へ直ぐ呼んで来て、おくれ。」と仰せになりました。姫はケーキの中に入つてゐる五滴の蜜を御覽に

なつたのでした。

それから給仕人達が王子様を呼びに参りました。王子様はこの料理人の着物を着換へたいからミ仰有つて、他の普通の着物にお着換へになつて姫の所へお出でになりました。するミお姫様は王子様だつてここをお見知りになつて両手を差伸ばして王子様をお抱きになりました。この結婚式で花婿になつてゐる人は窓から跳び降りて舗道で頭を割りました。

それから王子様ミベズワラガル姫は前のお庭にお歸りになりました。が間もなく羽を持つてゐて飛ぶこの出来る男がやつて來まして、じつミ屈んで子供でも抱へ上げるやうに、ベズワラガル姫を抱へて、何處かへ連れて行つてしまひました。それから王子様は羽を持つた男の所へ着くまで姫の跡を追はれました。そして姫を渡してくれるやうにミその男に仰有いました。するミその男は「飛べないけれども私よりも偉い男がやつて來て、その男がお姫様を私から奪つて行きました」ミ申しました。それで王子様は又その男が見附かるまで尋ねて行つて、姫を返すやうにミ仰有い

ました。するミその男は「七色の眼をした男がやつて來て、その男が私からお姫様を奪つて行きました」ミ申しました。それで又王子様はその七色の眼をした男が見附かるまで尋ねて行かれて、姫を返すやうにミ仰有いました。するミその男は「お姫様は黒森の女王に連れて行かれてしまひました。黒森の女王からお姫様を奪るこの出来る人は誰もありません」ミ申しました。

王子様は尙も尋ね續けられましたが、黒森へ行く道がどうしても分りませんでした。するミ、王子様が或畑をお通りになつてゐる時に、その畑の中にある一匹の白いチビ馬が王子様に向つてかう申しました「さあ私の背中にお乗り下さい。黒森に這入る口の所まで私が御案内致します。だけれども、それから先が誰にも這入つて行かれないんです。夜のやうに眞暗なんですから、それにその森の中に住んでゐる女王の強いこミ云つたら、誰もかなふ人なんかありません」

それから王子様はそのチビ馬にお乗りになつて、黒森の外側の道路の所までお出でになりました。するミ其處に一

人のお年寄がゐて、ミても大きな板石の上にお城を築いて  
ました。そしてそのお年寄が王子様に何處へ行くのです  
かミ尋ねました。王子様は、黒森の女王から僕の妻を取返  
しに行く所です、ミお答へになりました。するミお年寄が  
「そんなミこの出来る人は誰もありません。このお城を一押  
しで、板石から五ヤード位押し離す程の人であれば別だ  
が」ミ申しました。それで王子様は早速それを試して御覽に  
なりました。そして一押しなされるミ、お城が八ヤード程  
板石から離れました。お年寄はそれを見て驚かれました「や  
あ、あなたはわしの妹の子ぢやな。妹の子の他には世  
界中にその出来る人は誰も無いんだから」かう云つて、お  
年寄は王子様を抱いてキッスをされました。それから王子  
様に言付けて板石を動かさせになりますミ、その下に剣が  
ありました。「その剣を持ちなさい」。そして左右に振りな  
さい。さうするミ、そのあなたが剣を振る度に黒森の女王  
の力が無くなつて行くのぢや。そしたらあなたは、女王が  
すつかり弱つてしまつてから行つたらい、ミお年寄が申  
されました。

それで王子様は叔父様の仰せ通りになさいました。そし  
て王子様が黒森の女王の所にお着きになつた時には、もう  
女王はその首をちよいミ刻ねるだけでい、やうになつてゐ  
ました。

それから王子様はベズワラガル姫を森からお連れ出しに  
なつて、お二人は御無事に前のお庭にお歸りになりました。

「ベズワラガルといふ名前に何か意味があるでせうか」。

「いや、別に何も意味はありません。それは始めから姫のお持  
ちになつてゐたお名前で、これからも何時までもお持ちにな  
るお名前でせう」。

こんな會話が戸口の階段に腰を下して聽いてゐた老婆と話し  
手の百歳の老人との間に交されました。傍の老夫人はその間  
話を聞き乍ら眠つてゐました。

をばり

# 犬の話

氏原 銀

或る處に大そう犬の好きなおぢいさんがありました。其おうちには大きな犬や小さな犬がたんこ飼つてあつて、其犬の毛色も、黒、白、茶、赤、ぶち、なぎで、皆元氣な可愛らしい者でした。

其隣に友吉さんと言ふ、犬が大好きな子供があらまして毎日おぢいさんのおうちに行つて犬を見せてもらつて楽しんで居ましたが、いつの間にか澤山の犬とお友達のように仲よしになつて犬は友吉さんの脊中におぶさつたり抱かれたり友吉さんを脊中に乗せてお馬になつたりお角力を取つたりして喜んで遊びました。友吉さんは能くおぢいさんのお手傳をしました、夫れはごんな事だと言ひますれば、多勢の犬の小屋のお掃除や又其寢床に新しい柔らかな藁を入れ換えてやる事や餌をやる事で、又時々多勢の犬に行水さして體を奇麗にしてやる事でした、おぢいさんは友吉さんのお手傳してくれるのを大層喜んで何かごほうびを上げ様さ

考へて、友吉さんは犬が好きだから白い犬を御禮に上げました。友吉さん大層喜んで戴いた犬をおうちに持ち歸りました。おさうさんおかあさんも此犬を可愛がつて育てました、此犬は利巧な犬で悪る者の番をしたり又お使ひに行つたりお供をしたりして家の爲めによく働いて居ました。

時に此白犬が元氣がなく弱つて仕舞ましたので皆が心配して犬のお醫者さんの處へ連れて行つて見てもらひました處、之はお腹がわるいからださすぐに其病院へ入院せました、夫れから毎日おさうさんやおかあさんや友吉さんが代りかわりに病院へお見舞に行きました。だんだん犬の病氣がよくなつて來ましたので皆が大喜びでした。或日友吉さんが學校から歸りがけに犬を見舞に行きました處、白犬が居ませんので驚いてお醫者さんに尋ねましたら、お醫者さんも大層ビックリして心配しましたが、お醫者さんは暫く考へて居られましてあゝ分りました犬は病氣がよくなつ

たのでお家に歸つたのですと言はれましたので、友吉さんは犬は歸る道を知りませんから駄目ですと言ひます。お醫者さんは犬は來た道を能く覺えて居る者ですから大丈夫ですと言はれましたので、友吉さんは案じながら急いでうちに歸つて見ます。白犬は歸つて居て喜んで尾を振つて迎へましたので、ほんまにお醫者さんの言はれた通りだ。大層喜びました。

又或る時おさうさんが鳥打ちに鐵砲を以て行きますのに、犬に鳥をさがしたり又追つたりするお手傳をさせる爲に連れて行きました。随分遠い野道や町中や村の中を通つてきました。ふさおさうさんは後の方を見ます。附いて來た筈の白犬が見えませんでビックリして、やあ大變な事をした、さうで迷子にしたのだらうと考へ、之れは大層賑やかな町を通つた時に自分の姿を見失つたのだらうと思ひましたが、此の初めて遠い道をさうして白犬は歸る事は出來まいとほんまに失敗した。後悔して家に歸つて來ます。白犬はチャント歸つて居まして尾をふつて嬉しそうに迎へてくれましたので、おさうさんも大喜びで此遠い初めての道をよく歸る事が出來た事。犬のかしこいのを感心し

ました。

又或る時おあさんがお友達の所へ用があつて行く時、白犬が付いて來ますので、白お前は付いて來ずにお歸りと言ひましても付いて來ました。おあさんは其お友達の家の前でもうお歸り。白犬に言つて家に入りました。夫れから其處の家のお座敷で夕方迄お話をして歸らうとして其家を出て見れば、疾くに歸つたと思ひました。白犬は、其處にチャント待つて居ますので、白お前は先つきから長い間待つて居たのか。嬉しいやら氣の毒やら白の親切を思ひまして大層よろこびました。夫れから夕方の淋しい道を白と一緒に賑やかにおうちへ歸りました。又或る時友吉さんが大車な手帳の入つてある風呂敷包をなくしましたので、何處で落したのか。心配して居ます處へ白犬は其の風呂敷包をくわへて持つて來てくれましたので。友吉さんは大そう喜びまして、此事をお隣のおぢいさんに話します。おぢいさんは犬と言ふ者は大變鼻でにほひをかく力が強いから其風呂敷包にお前のにほひのあるのを知つて持つて來たのだと言ひました。又犬達は鼻のかぐ事のえらいのでおまはりさん

(四六頁へ續く)

## 讀者より

## 實習日記から

鐵砲洲幼稚園 北原 時枝

私は實習生として本年五月からT幼稚園に實習いたして居るものですが、無我無中で第一學期を過し、今また第二學期も終ろうとして居ます。省みればたゞ空漠として何等修め得た處がありません。左の記事は私の日記帳から抜き出したものです。

九月六日 夏休み後始めて出勤したので何かミ勝手が違つた様でまごついた。

園児達は珍らしさうに寄つて来て、夏休中の事を思ひくゝに話してくれました。たつた二ヶ月たらずの間ではあるが、子供達は急に變つた。中でも三人

だけは殊に甚だしい、この三人は今迄困り切つてゐたのだが、今日逢つて見るミ、すつかりおきなしくなつてゐた。餘りの事に目をはなさずに見て居たが決して悪ふざけをしない。この三人は本當に大人になつたのかしら、若しこのまゝすつミ良くなつてくれるのならさんなにか喜しいこでせう。

本當にさうなる様祈る。

九月十三日 第二學期になつてから、子供達は一般におきなしくなつたので、おいたをする子は一層目立つ。TさんMさんAさんの三人は餘計に悪くなつた様に思はれる。他の子供達が良くなつた爲めでこう思はれるのかしら。

幼児に對して「落ち付きなさい」ミいふのは無理でせうが、他の子供等が折角一心になつて、しみりミお話をしている時、あばれられてはたまらない、全體の空氣はすつかり壞されてしまふ。こんな時には腹立たしくなる。

然しこの三人が一人づつでもだん

／＼ミ落付かせるこが出来たら……  
……。そして靜かにお話を聴いたり唱歌をする様になつたら……。ミ願ふ。

九月二十五日 お砂場で長い時間遊んだ。皆思ひくゝに遊びふけた。お園子造りやトンネル遊びが大部分を占めてゐた。AさんミTさんミは水を運んで来て困つた。いくら止めてもきかない。考へて見るミ水を使はなければ良く出来上らないので、止めるのが無理かもしれない。然し水を使用する事は全體ミして許されない。やつぱり多勢だミ種々の點に無理が生ずる。

「兎さん」になるので兎の耳を切り抜いた。仕事はやさしいのミ、すぐに使はれるので皆興味深く一生懸命にした。出来上つた子は直ぐに頭につけてピョん／＼はね廻つた。他の子も負けずに早く頭につけ様ミ一生懸命であつた。やつぱり子供は、丁度氣持に合つた仕事であれば喜んで進んでするもの

である。今日は本當に一日中しつくり  
ミ過す事が出来た。みんな機嫌よくニ  
コ／＼顔で「左様なら」をして歸つた。  
本當に愉快であつた。

十月六日 Kさんは、近頃だん／＼  
素直になつて、私のそばに寄つて來る  
様になつた。そして何かして遊びたい  
様に見へた。此の時ぞこ私は一層朗か  
に遊んで上げた。なるべくKさんの心  
に合ふ様にミ努めた。するに他の子等  
が寄つて來て邪魔をする。こんな時は  
本當に困つてしまふ。Kさんはまだ一  
般の子等ミ遊ぶだけ馴れてゐない。自  
然に皆んなの中に入り遊べる様にして  
上げ様ミ思ふのに、他の子に言ひ聞か  
せてもわからない。今日は本當に困つ  
てしまつた。さうしたらよいのかしら。

十月二十六日 園外保育として明治  
神宮に参拜した。秋晴れのよいお天氣  
であつたので、本當に楽しい遠足であ  
つた。

日本國民ミして、殊に東京市民ミし

て、小さい時から幾度も神宮参拜をし  
て敬虔な心を養ふ事は最も必要と思つ  
た。さすがに子供達も附添のお母さん  
達も行儀よく皆靜肅に参拜した。遠足  
や運動會ミいへば、何んの目的で行く  
のか分らなく「たゞ食べる爲に」行く様  
になりがちであるが、今日は本當の遠  
足をする事が出来たので喜しかつた。  
歩いてゐる間も、休憩の時も、お辨當  
の際も、自由遊びの時も、規律よく愉  
快に元氣にすごした。お食事の跡に紙  
きれ一つ落ちて居なかつた事は、神宮  
参拜をして敬虔な氣持になり先生のお  
つしやつた事がよく守れたのでせう。  
花組の小さい子等には砂利道は少し  
キツイ様に思はれた。草原の上で休ん  
だ時は楽しさうであつた。附添のない  
遠足の時は元氣な方が今日はお母さん  
が附いてゐるので、はなれないミ泣い  
たりして困つた。親の居る時はこんな  
に甘えるものかしら。

十一月四日 傳習所で繪の指導法に

就ての教授を受けた。私はこれ迄迷つ  
てゐたこゝが明瞭になつて喜しい。今  
迄は随分間違つた態度で子供に接して  
ゐたこゝがおそろしく且申譯ないミ思  
つた。自分の考へで子供を見子供を引  
つ張るから誤るのだミ、つく／＼感じ  
た。子供に畫かせて其出來上つた成績  
品ばかりを觀るのは本當に悪い事だミ  
思つた。

十二月一日 Tさんは此の頃ミても  
元氣になつた。皆ミ一緒に遊んで泣き  
出す様なこゝは無い。これはCさんミ  
遊ぶ様になつた爲めかしら……。  
Sさんも近頃は素直に皆ミ遊べる様に  
なつたミ喜んでゐたら、さうしたもの  
か今日は又舊の惡癖が出て困つた。

毎日子供の爲す様を見てゐるミ、良  
くなつたり、悪くなつたり、おきなし  
かつたり、あばれたり、随分變化の多  
いものだ。これは何か原因する處ある  
のでせうが私には分らない。これが分  
らなくては教育は出來ないので無

かしら。

十二月六日 歌ひたい、踊りたい、さいふ氣持が一杯になつて居る時、子供等は何かも忘れて歌つたり、踊つたりする。又他の子供等も寄つて来て仲間入りする。踊らずに居られないらしい。こんな時は子供にまつては一歩愉快な時でせう。子供の仲間入りして子供と一緒に遊ぶのは本當に楽しいものだ。

然し私には教育者としての修養が出来てゐないから、最も完全に指導するさいふこゝが出来ないのを残念に思ふ。保姆さいふものは楽しいものだが、むづかしいものだ、しみ／＼思つた。

十二月八日 Kさんは繪を畫くこゝが何よりも好きらしい。繪を畫いてゐる時だけは側目もふらずに一心に取掛つてゐて、顔つき迄美しい。だが繪がすむと、こゝてもこゝわい顔になつて言葉まで暴々しく本當に醜い姿に變る。

朝「お早う」を飛び着いて來たのは、今

學期中唯一回だけであつたが、其時は本當にやさしいKさんであつた。もし「お早う」を言へない時は私の脊中をトシ／＼叩く。ふり向くミニッコリを笑つて抱きつく。こんなこゝが四五回あつたゞけで、大抵は寄りつかない。私はKさんのこゝが忘れられない。いつもKさんに付き添つてゐて、お話をしたり、繪を畫かせたりして美しい氣持だけにして上げたいと思つてゐる。Kさんは可哀想である。

今後ごんなに醜い態度をしても腹立てしてはならぬ。悪しみの心を起してはならぬ。

深い廣い愛を以て接し、私の力で出来るだけ美しい子供になる様努力しよう。

## 幼児の自由遊びの取扱ひ方に就て

岡山市立 南方幼稚園

西岡千代子

幼児の生活は其の全部が自由遊びである云はれませう。

然し之は廣い意味のものであります。幼稚園に於て從來使用されてゐます處の自由遊びなる語は幼稚園に於ける幼児の生活指導を二つに大別して設定保育を云ひ一を自由遊びを云ふ風に俗に狹義の言葉になつてゐる様に思はれますが、私は幼稚園に於ての幼児の生活活動はその全體を自由遊びであるに申し度いのであります。

幼児は斷へず自由遊びを行つてゐます。

保姆は斷へず幼児の遊びをその心中より敏捷なる眼で正確に觀察しそして其の遊びをよく理解しなければなり



ません。

身體的に活動旺盛な幼児であり、ましても時には或物を發見しそこより全く精神的のみの活動が始まり、身體的の活動を伴はない事もありませう。

此の場合保姆が不注意に外形のみを見、この幼児はよう生活してゐない、さあ私が指導をこ手を取り他に誘ふにしますならこの幼児は折角自發的に働いてゐたものを妨害される事なるでせう。

幼児の心の奥より湧き出た所の遊びがよく伸展して行くのを見ます時實に愉快を感じ幼児と同じく嬉しく思ふものであります。

男女兒の一團が飯事遊びを始めお父さんさなるもの、お母さん、子供達、女中、其他何々こ幼児達の間に各々の配役が定まり、そして其の役割りを懸命に營んでゐます、中でもこの遊びの中心人物たるお母さんの働き振り子供達を色々こ世話し、その言葉遣ひこ云

ひ、その態度様子等大人が見てゐたら吹き出しさうな、其の時若し保姆があゝ面白さうね、こ瞬間なりこも見守つたなら、大抵の幼児はその遊びをそのまゝはよう續けないでせう。

この場合指導者はこの遊びには直接觸れないで、他の幼児にして遊びを求めてゐるものさか、其の他適當な幼児を見出し誰々さん八百屋さんになつてあそこのお家へお野菜を賣りに行つて上げて下さい。こでも申しませうか早速その幼児は草花を摘み八百屋さんになり賣りに行く事にその幼児達の生活は始まり、又それに依つて、さつきの飯事遊びもこ馳走の材料が豊富になつた爲、より充實した遊びさなるでせう。又室内に於て塵紙等にクレヨン等で色々こ模様を畫き彩色して遊んでゐるそれ等をそのまゝにして置きますこ、終りはあゝ奇麗だで抽出しかポケットに仕舞はれるならまだよろしいが、時には破つてその邊りへ散らされる事さ

へあります。

この時、保姆が一言、その模様はお人形の着物にしたら、こちらのは帶のやうねこ、そこよりお人形造りが始まり、出来上れば人形遊びさなり、又數多く出来れば人形のお店も開かれるこでせうし此の他各方面に發展して行くでせう。

幼児の遊びは色々こ遷り變つて行くものであります、保姆はいつもその遊びを認識し遊びを基こして保育の計畫を立て、常に心こ材料の準備を以て遊びの中より計畫したる保育へこ無理の無い生活の流れを造り度いものこ常に考へるのであります。

大勢の幼児はいつも同時に同じ遊びは致してくれません。

あちらで數名、こちらで一組、お室で、ブランコで、砂場、滑り臺で、こ云ふ風に、又中には保姆の手元でないこ遊ばないこ云ふ幼児も居るかと思へばいつも一人ぼつちで遊びたがる變人

も居るでせう。

或保育に理解を持つてゐられる筈の方より度々聞かされる事でありませうが、幼稚園に於ける自由遊びは常に保姆が中心となり全園児が同一の遊びをしてゐなければいけない、保姆の手元で一目出来る様に遊ばせよ。

私は之を聞きます時もつこもだこも思ひますが、さうしても満足は出来ません。

他人に見て貰ふ遊びなら誰にも一目で見えるお揃ひの遊びが最も經濟的であり美しいかも知れませんが然し、幼児が自由に心懸に遊ぶ其の遊びは誰に見て貰ふ云ふ様な野心は何處にもない、我あるをさへ忘れたる有様なのです。

無論保姆が中心となり遊ぶ事も應々あります、又全園児同一の遊びに熱中するこもあります。

時に依り環境によつてその型體は異なりませう。

入園當初ならば大抵の場合保姆が中心で其の遊びも外形的に纏まりませうが、最早や幼稚園の生活に慣れて参りますと、さうばかりは出来ません。

幼児は全く自發的に大いに自己活動をして來ます、これこそほんさうの自由遊びであるを考へます。

多くの遊びに分れてゐてもその遊び全體が保姆の頭の中に纏まつてゐたならば決して差支へないと思ひます。

保姆が幼児が身體的に離れてゐるから云ひ、又保姆の眼が直線的に幼児に届いてゐない云つて後で、横で、あちらで、何をしてゐる事が皆目分らない云ふ様な事ではならないと思ひます。各グループに於ての遊びが如何なる動向にあるかの大體を知つて居てこそ遊びの誘導が出來、又此處に至つて始めて保姆の氣持に落付きが出來、その氣持は自然に幼児に傳はり、幼児も安心して遊びを充分に展開するこも出來得るでありませう。

この多くの自由遊びの取扱ひ方を具體的に羅列しますならこれ又限りなくありませう。

何の遊びに於ての場合かはかう取扱かつたら云ふ様な事は餘りにも小さ過ぎて餘りにも大ざつばな事であらうと思ひます。

幼児の生活を指導する事は極めて微妙たる所に有るので、同じ場合の取扱ひに於ても、取扱ふ其の人により、又取扱はれる其の幼児に依つて異なるもので、要は指導者そのもの、人格によつて、人間によつてされるもの、深く信するものであります。

かく申しますものゝ幼児の自由遊びの取扱ひ之即ち幼児教育の大部であるに申しましても過言ではなからうと思へます。

將來人として立つべき基礎を造る幼児教育でありますので、一朝一夕の業で無く永遠の仕事で有るを考へ大いに

# 兒童問題研究

定價20セン 送料1セン 二月號(講習會展覽會號) 申込次第研究會規約、研究ニ  
ス雜誌見本送呈(郵税2セン要)

この雜誌は嚴正なる科學的態度を以て兒童とその生活を綜合的に研究する目的から生れたものであつて、保姆、教師及び両親に取つて、これ程豊富な糧となる讀物は、過去にも現任にも他に出された事はありません。殊に新春以來の本會及本誌の發展は目ざましいものです。試みに是非一冊を手にしてみて下さい

## 附録・「子供新聞」(第六号)

研究會規約(改正案) .....

支部の設置について .....

兒童問題研究手引(兒童學文獻) .....

誌上兒童相談.....(担当者 淡路園治郎博士)

世界新學校巡リ(アメリカの卷) .....

童話 演説 金時計.....村上勳

歐米の少年團の現状青年教育課長 小尾範治  
文部省社會局

校外教育概論.....編輯部

座談 兒童學入門(七).....文學士 山脇敬次

記事 「子供の家」を訪ねて.....田中卓

井ノ頭學校(感化院)參觀記:吉本誠一

▼醫學の立場から.....醫學博士 廣瀬 興

▼實際家として.....日白幼稚園長 和田 實

保育案の検討

子供の習慣について 東大助教授 青木誠四郎

兒童の臨床的研究.....文學博士 淡路園治郎

輝ける新春の三日間.....編輯部

あ い さ つ ..... 統制委員會  
會長の推薦について.....

報告集  
會報  
原稿通  
特別方  
研究地

發行所 東京本所横川橋四ノ七(帝大セツルメント内) 兒童問題研究會  
振替東京七七-七六番

# 日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 吉岡 郷甫  
主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三  
附屬幼稚園主事

## 日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ  
一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査  
一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

會ノ開催  
一、雜誌發行(毎月一回)  
一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行  
一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介  
一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク  
會長 一名 會務ヲ總理ス  
主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス  
幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス  
評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス  
主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス  
第十一條 本會ハ必要ニ應ジ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ  
第十二條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更改スルコトヲ得ス

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更改スルコトヲ得ス

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁	二面一頁	一面
半年分	金貳圓拾錢	金參拾圓	金貳拾圓	金拾圓
一年分	金四圓拾錢	金參拾圓	金貳拾圓	金拾圓
拾貳冊	金四圓拾錢	金參拾圓	金貳拾圓	金拾圓
拾貳冊	金四圓拾錢	金參拾圓	金貳拾圓	金拾圓

廣告 特等面一頁二面一頁 一面一頁以下 金貳拾圓 金拾圓 金貳拾圓 金拾圓 以下 廣田區駿河臺ノ三品田 廣告社に御申込下さい

（外國行郵税ハ一部金拾貳錢ノ割にて御拂込下さい）  
昭和九年二月十五日印刷納本  
昭和九年二月十五日發行  
幼兒の教育 第三十四卷 第一號  
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

### 不許複製 禁止轉載

編輯者 倉橋 惣三  
發行所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷者 柴山 則常  
印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
東京市小石川區大塚町三十五  
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內  
振替口座東京一七二六六番

發行所 日本幼稚園協會  
振替口座東京一七二六六番

### 注文規定

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます(郵券代用の場合は繰り割増)  
一、御送金の場合には振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。  
一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。  
一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越な願ひます。  
一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帯封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。  
一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

久留島武彦先生新著

▲豪華版中型三五〇頁 ▲定價二圓五十錢  
▲箱入色挿繪約二十葉 ▲送料十六錢

童話集

久留島先生の十八番集

壇上に立つては正に日本一の定評あり現代の童話王として天下周知の我が久留島先生の數千のお話の中の名話傑作を選択した十八番集

童話壇上三十年の記念

童話壇上生活茲に三十年、其間最も會心の傑作とさる、十三話を選択して先生自ら筆を採り悉く壇上の實話形式を以て詳記されし記念名作集

超豪華版お話本の王様

上述の意味に於て内容は天下一品而も外形超豪華版中刊たて色刷挿繪二十葉優美卓絶學校家庭用高級兒童讀物童話兒童劇演演の絶好參考

十一名話

- 一 神秘の角笛 (巻五・六)
- 二 眼を弾かれた鰐 (巻三・四)
- 三 三軍馬の魂 (巻四・五・六)
- 四 西牛肉屋大地震 (巻三・四)
- 五 茄子聯隊長 (巻六・七)
- 六 吹雪の森の少女 (巻五・六)
- 七 鉄んだ蟹の智慧 (巻三・四)
- 八 八化石 (巻五・六)
- 九 虎の兒の大發見 (巻一・二)
- 一〇 金色雲に (巻三・四)
- 一一 放送牙けき月光 (童話)
- 一二 命の分配 (一般向)
- 一三 明治大帝の御聖徳 (童話)
- 一四 大東京の三百年 (童話)

八版

東京女高師教授 下田次郎先生著  
現代教育 實話 第一卷  
美裝 定價二〇〇〇 送料〇・〇〇

五版

東京女高師教授 下田次郎先生著  
現代教育 實話 第二卷  
美裝 定價二〇〇〇 送料〇・〇〇

□ 千紫萬紅各趣を異にするも悉く筆者の感動したる實話集にて萬人を泣かしむ名話を二十餘年間に數千の女學生に一番感動した實地見聞の話を求めて、自筆の感話に基き整理したる名記録で萬人必讀の良書  
□ 洗練されたる感話なる故引用應用の途多く又單なる兒童生徒讀物としても最上。

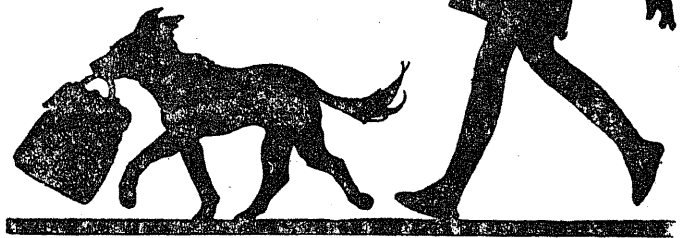
東大 東阪 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區神保町一丁目六番七番 振替東京一〇三〇七番  
大阪市南區安堂寺一丁目二番八番 振替大阪三九五六番

# 御園兒の用品は

精選吟味した製品が總て揃へ整へて御座います。個々にお探み遊ばすより弊社へ御下命が最も割安で御負擔も輕う御座います。

品名	價	品名	價	品名	價
お道具箱	〇、二五	糊入	〇、〇五	大阪ヌリエ大	〇、三〇
クレオン(太)	〇、二〇	ホール切	〇、一三	同小	〇、二〇
同	〇、二五	ハンカチ布	〇、一二	上衣	二、五〇
同(中大)	〇、一六	鉛筆	〇、〇二	同	一、〇〇
同	〇、二〇	出席カード	〇、一〇	帽	一、三〇
同	〇、一五	マール・ハブラシ	〇、一五	同	一、四〇
色鉛筆(トンボ印)	〇、二五	ポスター名入百枚	七、〇〇	ランドセル	一、七〇
はさみ	〇、一五	自由畫帖上	四、〇〇	同	〇、三〇
刷毛	〇、〇五	普及品小	〇、一七	上履	〇、三〇
粘土へら	〇、〇五	環付自由畫帖	〇、一八	同	〇、四五
糊へら	〇、〇一	スクラップ・ブック中	〇、一二	フエルト製靴	〇、五五
繪定規	〇、〇五	同小	〇、〇八	上靴	〇、六〇
織針	〇、〇八	ヌリエ No.1 No.2	〇、二五	同	〇、六〇
		草履袋	〇、一八		



館ルベレーウ 社會式株

番七二八三(33)段九話電・路小川今・田神・京東 店本  
番八三一六局本話電・六二ノ五町後備區東・阪大 所張出

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可  
(毎月一回十五日發行)  
昭和九年二月十二日印刷納本  
昭和九年二月十五日發行

定價三拾五錢